

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

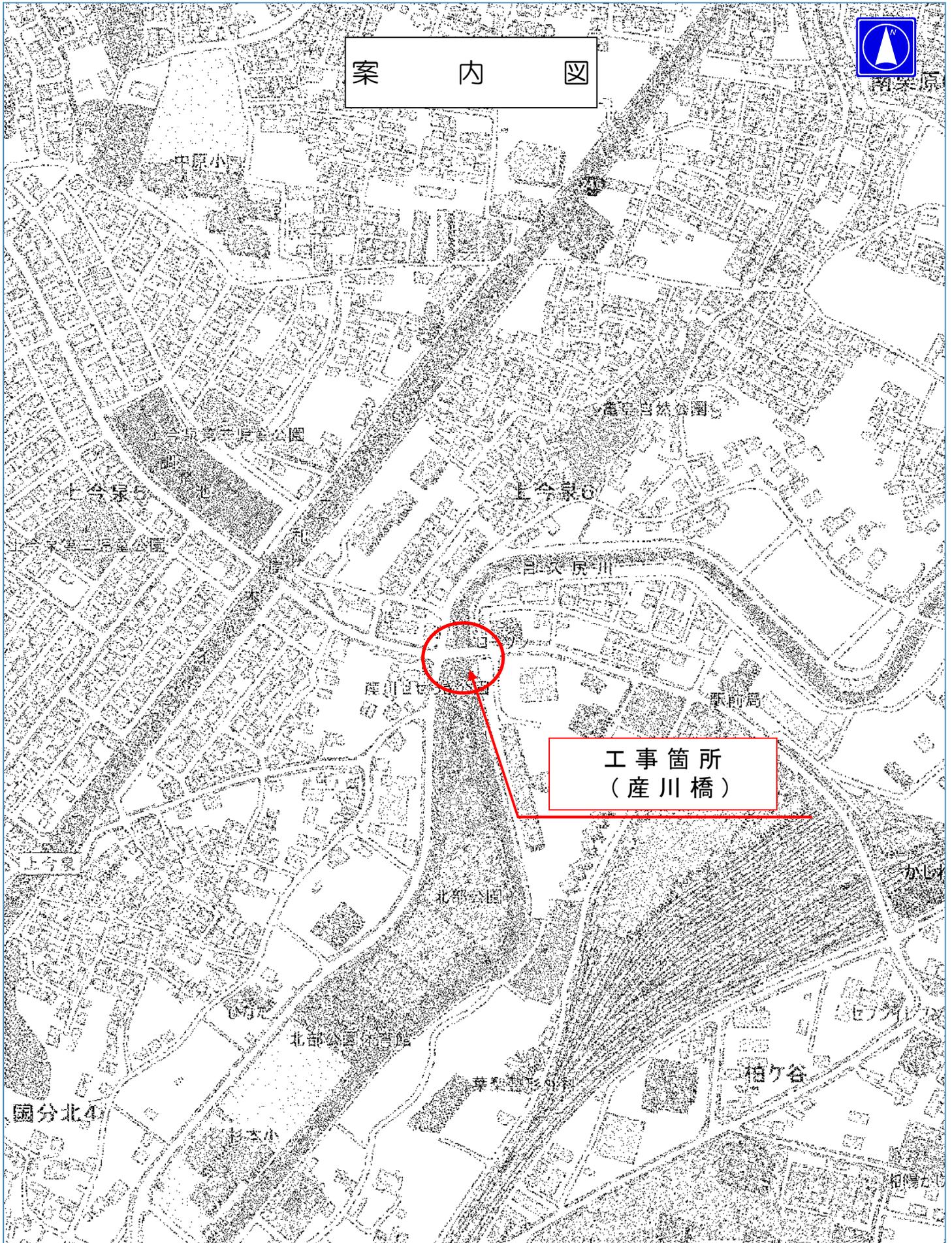
契約番号 : 7161

件名	12号橋(産川橋)橋梁補修工事	
履行場所	海老名市 柏ヶ谷一丁目 地内	
工期	令和7年10月22日～令和8年2月27日(129日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○週休2日制確保工事の対象案件	
予定価格	78,914,000円(税込)	71,740,000円(税抜)
最低制限価格	有り(開札後算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
落札候補者の入札金額が、調査基準価格(70%)未満の場合 ※ただし、予定価格(税込)100万円以下の案件は除く。	契約締結にあたっての制限等 <ul style="list-style-type: none">○技術者と現場代理人の兼務不可 ※前年度の工事評定平均が「B(75点)」以上である場合は除く。○技術者及び現場代理人の他案件(本市入札案件)との兼任不可 ※技術者等の兼任制限が解除されている場合でも不可○前払金の制限(金額上限、中間前払金の制限など) 契約金額の20%以内(海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限ります。) ※前払金の上限金額は5,000万円以下。中間前払金の支払いはありません。 契約保証 契約金額の30%以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。 ※現金納付及び実績による免除はありません。 <ul style="list-style-type: none">(ア)金融機関又は保証事業会社の保証(イ)公共工事履行保証証券による保証(履行ボンド)(ウ)履行保証保険契約の締結(定額てん補)	
入札方法等	条件付一般競争入札(電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAXで受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	170 塗装 経審 - 点以上 - 点未満	○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円(建築一式工事の場合は8千万円)以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第4区分	第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く ○主任技術者は次のすべての資格を有する者を配置すること <ul style="list-style-type: none">・鉛作業主任者・保護具着用管理責任者・化学物質管理者	
	落札件数制限	なし	
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任(監理)技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。	

<p>事前提出書類 (システム添付)</p>	<p>参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。</p> <p>○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか）</p> <p>（1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u></p> <p>（2）<u>（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）</u>健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し</p> <p>（3）<u>（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）</u>健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書</p> <p>○「配置技術者等の資格・実績等調書」 ・主任技術者又は現場代理人の資格及び修了を証する書類、3ヵ月以上の雇用を確認できる書類（雇用確認の書類は、原則として健康保険被保険者証の写し） ※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び保険者番号（3箇所）にマスキング(黒塗り)をして提出してください。</p>
<p>入札時提出 (システム添付)</p>	<p>○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。<u>システムへはPDF化して添付してください。</u></p>
<p>落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)</p>	<p>開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。)</p> <p>○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類</p>

案 内 図



工事箇所
(産川橋)

中原小

滝野自然公園

上今泉第三児童公園

上今泉五丁目

上今泉六丁目

産川

産川七丁目

駅前局

上今泉

北部公園

北部公園体育館

葉梨整形外科

相ヶ谷

園分北4丁目

杉本小

相ヶ谷カシ

施工条件明示書（土木工事共通）

1 工事概要

発注者	海老名市		
工事件名	12号橋(産川橋)橋梁補修工事		
工事場所	海老名市 柏ヶ谷一丁目 地内		
工事目的	海老名市長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の補修工事を行い、安全な交通を確保し、適切な維持管理を行うことを目的		
工事概要	対象橋梁 N=1橋 1 橋梁補修工 1式 1 塗替塗装工 1式 1 橋面防水工 1式 1 区画線工 1式 1 仮設工 1式		
契約工期	令和7年10月22日 から 令和8年2月27日 まで		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金事業	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	
		<input type="checkbox"/> 県費	
	<input type="checkbox"/> 市単独事業		
設計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単独積算		
	<input type="checkbox"/> 合算積算		工事
			工事

2 積算諸条件

- 主たる工種 : 橋梁保全工事
- 施工地域・工事場所区分 : 市街地(DID補正)
- 契約保証の方法 : 発注者が金銭的保証を必要とする
- 施工パッケージの使用（一部使用含む） 有 無
- 週休二日制確保工事該当の有無 : 発注者指定(当初計上) 受注者希望(変更補正) 無

【使用歩掛及び単価等】

- | | | | |
|-------------------------------------------------|---------|-----|----|
| <input checked="" type="checkbox"/> 土木工事標準積算基準書 | 適用年版：令和 | 7年 | 7月 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 諸経費率 | 適用年版：令和 | 7年 | 7月 |
| <input type="checkbox"/> 下水道用設計標準歩掛表 | 適用年版：令和 | 年版 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 土木工事資材等単価表 | 適用年版：令和 | 7年 | 7月 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 刊行物 | 適用年版：令和 | 7年 | 7月 |
| <input type="checkbox"/> 特別調査 | 適用年版：令和 | 年 | 月 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 海老名市見積単価等 | 適用年版：令和 | 7年度 | |
| <input type="checkbox"/> その他 | 適用年版：令和 | 年 | 月 |

3 施工条件

【1】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (他工事件名等) <input type="checkbox"/> 有 (工期、内容等)
	2	当工事における施工時期の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (制約を受ける施工内容等) <input type="checkbox"/> 有 (施工時期等) 足場設置に係る占用申請及び許可後(河川管理者)
	3	施工時間について	<input type="checkbox"/> 昼間施工 (その他特記事項) <input checked="" type="checkbox"/> 夜間施工 (一部含む)
	4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	<input type="checkbox"/> 無 (関係機関名) <input checked="" type="checkbox"/> 有 神奈川県(河川管理者)、水道局
	5	工事着手前に地上物件(家屋調査)、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、 可成り移設等の制約	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対象内容) <input type="checkbox"/> 有
	※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。		
【2】 用地関係	1	工事用地等の未処理部分について(用地買収状況について)	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (用地未取得部分等) <input type="checkbox"/> 有 (取得予定年月日等)
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (使用場所、期間、借用条件、復旧方法等) <input type="checkbox"/> 有
	3	使用後の復旧条件	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (復旧内容等) <input type="checkbox"/> 有
【3】 公害関係	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	<input type="checkbox"/> 無 (建設機械と制限内容) ①鉛等有害物を含有する塗料の剥離やかき落とし作業における労働者の健康障害防止について (厚生労働H26.5.30) ②廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ③騒音規制法・振動規制法 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (作業時間と制限内容) ①鉛等有害物を含有する塗料の剥離やかき落とし作業における労働者の健康障害防止について (厚生労働H26.5.30) ②廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ③騒音規制法・振動規制法
	2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対策内容) <input type="checkbox"/> 有

【4】 安全対策 関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （指定内容） 有害物質を含有する既存塗膜除去時の有害物質対策 <input type="checkbox"/> 有 （負圧集塵装置等の設置やファン付呼吸具、化学防護服等）
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> 上水道 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	3	交通誘導警備員の配置について	<input type="checkbox"/> 無 （1）交通誘導員の配置 工事内容に応じて2名～5名の交通誘導警備員を配置 <input checked="" type="checkbox"/> 有 （2）配置期間 現場実施期間中
【5】 工事用道 路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （搬入経路・使用期間等の制限） <input type="checkbox"/> 有 （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （仮設道路に関する安全施設） <input type="checkbox"/> 有 （工事後の措置、維持補修内容）
【6】 建設副産 物関係	1	建設発生土が発生する場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （建設発生土の処分先） 名称： 住所： <input type="checkbox"/> 有
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input type="checkbox"/> コンクリート塊 <input checked="" type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 建設発生木材 <input type="checkbox"/> 建設発生木材（伐木・除根材） <input checked="" type="checkbox"/> 建設汚泥 <input type="checkbox"/> 建設混合廃棄物 <input type="checkbox"/> 金属くず <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 塗膜くず等 ） ※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること
※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。			
【7】 工事支障 物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input type="checkbox"/> 電柱 <input checked="" type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ガス管 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 架空電線 <input type="checkbox"/> 標識・看板 <input type="checkbox"/> その他（ ）
【8】 薬液注入 関係	1	薬液注入について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （対象内容） 工法区分： 使用材料： <input type="checkbox"/> 有 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：

【9】 その他	1	工事現場発生品がある場合について	<input type="checkbox"/> 無 (品名、数量等) <input type="checkbox"/> 有
	2	支給材料及び貸与品がある場合について	<input type="checkbox"/> 無 (品名、数量等) <input type="checkbox"/> 有
	3	特殊・特定使用材料を使用する場合及び資材搬入等に制限がある場合について	<input type="checkbox"/> 無 (品名、数量、搬入制限等) <input type="checkbox"/> 有
	4	発生売却品評価額(スクラップ等)を計上している場合について	<input type="checkbox"/> 無 (品名等) <input type="checkbox"/> 有
	5	設計条件について	① 歩行者、車両の通行に支障のないように作業計画を立て周辺地域に配慮すること。 ② 関係自治会、周辺家屋への工事の周知を行い、トラブルのないように努めること ③ 構造物・境界杭については、適切な管理を行い、トラブルのないように努めること。 ④ 工事箇所は、工業地内であるため、施工時間等調整すること。また、安全管理に留意すること。 ⑤ 工事施工中の路上駐車については十分注意すること。

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

工事説明書

(特記仕様書)

第1条 (目的・趣旨)

本業務は、海老名市長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の補修工事を行い、安全な交通を確保し、適切な維持管理を行うことを目的とする。

第2条 (工事概要)

工事件名 : 12号橋(産川橋)橋梁補修工事
工事箇所 : 海老名市 柏ヶ谷一丁目 地内
対象橋梁 : 12号橋(産川橋)

<特記事項>

12号橋(産川橋)の既設塗料には有害物質である鉛の含有が事前の調査で判明している。なお、PCB及びクロムは基準値以下である。

➤ 鉛 380,000mg/kg (基準600mg/kg)

処分については下記 **第15条～17条**を参照

第3条 (工期)

契約工期は、令和7年10月22日から令和8年2月27日までとする。

第4条 (鉛作業主任者等)

本業務における主任技術者は、下記の資格を保有する者を充てること。

- (1)当該橋梁は、鉛中毒予防規則で指定される鉛を含有しているため、「**鉛作業主任者**」の資格を有すること。
- (2)近年、塗膜除去作業において、事故等も発生していることを踏まえ、現場従事者の安全を確保するため、「**保護具着用管理責任者**」及び「**化学物質管理者**」の資格を有すること。

第5条 (施工計画)

契約業者は、工事着手日から30日以内に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての「**施工計画書**」を作成し提出すること。

なお、設計図書と異なる工法にて施工を実施する場合には、同等機能以上を有する工法を条件とし、また、それを証明する根拠資料を作成し提出すること。

第6条（施工管理＜出来高管理・工期及び工程管理・品質管理＞）

- (1) 契約業者は、「海老名市土木工事共通仕様書」及び「土木工事施工管理基準」に基づき施工すること。
- (2) 足場の設置は、河川管理者（神奈川県）の許可後に行うこと。
- (3) 写真管理において、電子黒板を使用する場合は、必要以上に電子黒板を大きくし、不可視部分を作らないこと。
※ 写真に対して1/8以下とし、必要に応じて透過すること。
- (4) 上記に無き内容については、発注者と協議すること。また、施工計画書に明記し、発注者の承諾を得ること。

第7条（安全管理）

(1) 安全管理

- ① 交通安全対策については、警察及び道路管理者の許可条件を厳守すること。
また、夜間における照明設備・休日・作業休止日における安全柵、歩行者の通路の確保等には万全な対策を講じるとともに、看板設置やライトアップ等により注意喚起を図ること。
- ② 当該橋梁は近隣小・中学校の通学路となっているため、児童の安全確保に留意すること。
- ③ 防護具は常に正しく着用し、ヘルメットのアゴ紐は必ず結んでおくこと。
また、作業中は原則として禁煙とし、歩行中の禁煙及び啣え煙草は厳禁とする。

(2) 安全訓練等

工事各工種を開始するに際し、元請社員及び協力業者を交え、施工計画書等を用いて、安全施工等について十分に検討すること。

(3) 気象条件に関すること

次の内容を含めた安全対策を具体的な内容を施工計画書に明記すること。

- ① 現場特性の把握、 ② 中止・再開基準の設定、 ③ 迅速に退避するための対応
- ④ 日々の安全管理の徹底、 ⑤ 現場の点検方法、対応方法及び体制

なお中止基準は以下を標準とし、更に現場特性に応じた基準を設定すること。

- ① 当該工事等箇所に強風注意報・暴風警報が発表された場合
- ② 当該工事等箇所に竜巻注意情報が発表された場合
- ③ 労働安全衛生法及び労働安全衛生規則に該当する場合

(4) 地震等の状況報告に関すること

海老名市において、次の場合は速やかに現場点検を実施し、発注者へ報告すること。

- ① 震度4以上の地震が発生した場合、 ② 強風注意報が発令された場合
- ③ 大雨注意報が発令された場合

第8条（環境対策関係）

(1) 海老名環境マネジメント

- ① 周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑えること。

- ② 低騒音・低振動型作業機械を使用すること。なお、写真管理をすること。
- ③ 排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用すること。
なお、写真管理をすること。
- ④ 周辺住民の生活を妨げない作業時間帯を設定すること。
- ⑤ 工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。

(2) その他

- ① 不法・違法無線局（不法パーソナル無線）を設置したトラック・ダンプカー等を、工事現場に立ち入らせないこと

第 9 条（工事内容等を示す看板（標識）の設置）

- (1) 契約業者は、工事現場に広報板、迂回誘導板等、別に定めのあるもの他（道路工事現場における表示施設等の設置基準）、工事件名、工事場所、担当部課名、契約業者の住所及び氏名・連絡先等を記載した表示板を一般通行人の見やすい場所に設置する。
- (2) 看板による工事予告、迂回のお願ひ及び高さ規制に関する看板等は、工事着手日の原則 1 週間以上前から行うこと。

第 10 条（工事お知らせ文及び説明）

契約業者は、工事お知らせ文を発注者と協力し作成すること。
また、工事着手前及び工事中は、工事内容を現場周辺住民や地権者に周知し、協力を求めるために必要な措置を講じなければならない。

第 11 条（仮設備関係）

- (1) 仮設備（現場事務所等）を設ける際は、位置や規模等について、発注者の承諾を得ること。
- (2) 工事用電力や用水等は、すべて契約業者の負担とする。なお、河川や近隣公園の水等を勝手に使用しないこと。

第 12 条（建設副産物関係）

- (1) アスファルト殻、コンクリート殻（無筋・有筋）の処分は、建設リサイクル法等を遵守し、再生工場に搬入すること。
- (2) 詳細については、施工計画書に明記し、発注者の承諾を得ること。

第 13 条（使用材料）

使用材料の不良品を排除するため、下記の事項を遵守すること。

- (1) 使用材料は、経験と実績のある品質管理体制の確立した優良工場製品を使用すること。
- (2) 現場搬入材料は現場代理人が責任をもって検収し、必要に応じて発注者の立会いを求めること。

第 14 条（足場関係）

- (1) 足場の設置については、河川占用となるため、河川管理者と協議が必要となる。
協議は、発注者が主体となって行うが協議資料については、契約業者は必要書類の作成に協力すること。
なお、河川管理者から施工業者の協議への同席を求められた際は指示に従うこと。
- (2) 足場の設置に関し、必要に応じて労働基準監督署に必要書類を提出すること。

第 15 条（公害対策関係）

- (1) 当該橋梁の既設塗料には基準値を超える鉛の含有が確認されているため、通知「鉛等有害物を含有する塗料の剥離やかき落とし作業における労働者の健康障害防止について(厚生労働 H26. 5. 30)」等、関連法令等に従い施工すること。
- (2) 塗装塗替時は、シート養生等の環境対策を実施し、周囲への飛散を抑制すること。また、ケレン作業の際は作業員の安全衛生のため、負圧集塵装置等の設置やファン付呼吸具、化学防護服等の着用を徹底すること。
- (3) 塗装塗替時に発注者が現場立会いや現場確認を行う際に必要な化学防護服等は契約業者が準備すること。

第 16 条（有害物質を含有する既設塗膜屑及び廃棄物等の管理）

- (1) 塗膜屑や防護服等を容器に入れる際は、容器に破損等がないか事前に確認すること。また、作業で容器を破損させないようにすること。
- (2) 塗膜屑や防護服等を入れた容器は、番号管理を行い、重量を測定し記録すること。
なお、写真管理をすること。
- (3) 塗膜屑や防護服等を入れた容器を現場保管する際は、床に直置きせずコンパネ等の上に置くこと。また、雨曝しになる箇所に置かないこと。
- (4) 夜間や休日等、保管庫に第三者が立ち入らないように施錠及び確認を行うこと。

第 17 条（有害物質を含有する既設塗膜屑及び廃棄物等の運搬）

有害物質を含有する既設塗膜屑、防護服及び防護シート等を場外搬出する場合は、飛散防止の対策等を適切に行うこと。

第 18 条（工事全般）

- (1) 市道 1146 号線は、市が指定する緊急輸送補完道路であることから、片側交互通行として車道通行止めとしないこと。
- (2) 橋上の歩道を資材置き場にする等の理由で歩行者通行止めとしないこと。
- (3) 施工範囲については、着工前に発注者と現地立会いを行い、確認を行うこと。
なお、現場施工中においても必要に応じて現地立会いを行うこと。
- (4) 現場着手前に工事支障物の有無を確認し、発注者に報告すること。
- (5) 舗装打換を行う際は、5cm 以上の段差を生じさせないこと。
- (6) 塗装の色彩については、発注者との協議により選定すること。
- (7) なお、既設舗装の取壊しと新設アスファルトの敷均しは、一連の作業で行い、

期間を開けないこと。

(8)既設舗装取壊し及び舗装の際は、骨材等の飛散防止を行なうこと。

また、乳剤の散布時には飛散防止の養生を確実に行うこと。

なお、アスファルト敷設の際、ダンプトラック等の工事車両は乳剤を付着させたまま、既設道路を走り、舗装面を汚さないように対策を講じること。

(9)施工後の担当課による下検査を受けるにあたり、事前に出来高書類(塗装面積・舗装面積求積図・構造物の出来高測定図等)を発注者に提出すること。なお、下検査は、契約業者が行う社内検査後に行うものとする。

(10)関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち、責務を果たすこと。

第 19 条（境界関係）

官民境界を工事着手前に確認するとともに、境界杭・境界鋸等の境界を示すものを工事で損傷しないよう十分注意すること。

第 20 条（第三者の被害の補償）

第三者の被害の補償について、契約業者の工事施工上の不手際による被害（例：通行者、車両へ損害等…）は、すべて契約業者の負担とする。

また、軽易な一般補償、工事中の応急措置、クローラーによる道路施設等の損傷並びに設計上の影響幅を越える部分の道路損傷復旧費についても、すべて契約業者の負担とする。家屋、その他の工作物に与えた損害が日常生活や営業等に著しく支障をきたす場合は、発注者の指示により応急処置を講ずること。

第 21 条（段階確認）

契約業者は、下記工種の施工段階において、段階確認を受けなければならない。

(1)断面修復工 … はつり・ケレン完了時に確認

(2)塗装塗替工 … 素地調整（ケレン）完了時に確認

契約業者は、段階確認の予定時期を発注者に報告しなければならない。ただし、実施時期及び箇所は発注者が定めるものとする。

なお、上記以外でも発注者が必要とするものについては、確認を受けるものとする。

第22条（関係官公庁その他への手続き）

契約業者は、業務を実施するため、関係官公庁等に対する諸手続きが必要な場合は、速やかに行うものとする。

第 23 条（土地への立入り等）

契約業者は、業務を実施するために国有地、公有地又は私有地に立ち入る場合は、関係者と十分な協調を保ち、監理業務が円滑に進捗するように努めなければならない。なお、やむを得ない理由により、現地への立ち入りが不可能となった場合には、直ちに発注者に報告し、協議しなければならない。

第 24 条（守秘義務）

契約業者は、業務の処理上で知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

第 25 条（履行報告義務）

契約業者は、契約内容に関わらず、着手前と毎月末に履行報告書を提出し、業務進捗状況を報告するものとする。

なお、様式は指定様式とし、実施比較表を添付の上、進捗状況が詳細に認出来る様記載するものとする。

第 26 条（創意等実績報告書）

工事提出書類の1つである創意工夫等実績報告書を提出する場合、本業務においては、下記の事項に注意すること。

- (1) 地域美化活動等を創意等実績報告とする場合は、専ら実施計画書の提出から工事完成日までの期間行うこと。現場稼働時のみの作業は、これに該当しない。
- (2) 新技術の活用（CAD・施工管理ソフト・測量機器等）については、発注者及び契約者双方にメリットがあるものし、従来工法でも十分な成果が得られると発注者が判断したものは、これに該当しない。

第 27 条（法定外の労災保険の加入）

本工事において、契約業者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入しなければならない。また、契約業者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示しなければならない。

第 28 条（その他）

本業務を進める上で疑義が生じた場合は、速やかに発注者と協議の上、実施するものとする。また、協議については書面（打合せ記録簿）で行うものとする。

また、本特記仕様書及び別紙施工条件明示書に定めのない疑義事項については発注者と協議のうえ、履行するものとする。

なお、契約業者は監督員職員の許可なく、本特記仕様書及び別紙施工条件明示書に定めた事項から逸れて作業してはならない。仮に違反があった場合は、最終的な工事評点に影響が及ぶことを受注者は承知すること。

特記仕様書（受注者希望型）

週休2日制確保工事に関する特記仕様書(土木工事)
(受注者希望型)

1. 週休2日制確保工事について

- ・本工事は、「海老名市週休2日制度確保工事試行要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。
- ・本工事は「受注者希望型」で実施する。
- ・要領や提出書類等は市ホームページから入手すること。

2. アンケートについて

- ・受注者は、同意・不同意に関わらず、アンケートに協力するものとし、工事完了後、工事完成届とあわせて市に提出すること。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

(趣旨)

第1条 この特記仕様書は、海老名市土木工事共通仕様書等に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

(適用)

第2条 海老名市が発注する工事で、舗装版の切断作業に適用する。

(処理方法)

第3条 舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

(条件)

第4条 受注者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

2 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

(提出書類等)

第5条 受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、受注者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。また、受注者が濁水の収集運搬を委託した場合は、受注者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

(その他)

第6条 この特記仕様書に疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

令和 7 年 度

1 2 号 橋 (産 川 橋) 橋 梁 補 修 工 事 設 計 書

番 号	R6以降、7-7、単価7-7	施 工 年 度	令和7年度
名 称	12号橋（産川橋）橋梁補修工事		
場 所	海老名市 柏ヶ谷一丁目 地内		
施 工 主	海老名市	概要 対象橋梁 12号橋（産川橋） 1 橋梁補修工 1式 1 塗替塗装工 1式 剥離剤塗布・塗膜除去 590㎡×2回 素地調整 A=590㎡、下塗り（有機ジンク）A=590㎡ 下塗り・中塗り・上塗り A=590㎡ 1 橋面防水工 1式 切削オーバーレイ工（改質Ⅱ型アスファルト）A=220㎡ 橋面防水工（塗膜系防水）A=220㎡ 1 区画線工 1式 1 仮設工 1式	
設 計 区 分			
路 線 名	12号橋（産川橋）		
期 間	令和 7年 10月 22日 ～ 令和 8年 2月 27日		
日 数	129 日		
部 課 名	まちづくり部道路管理課		
積 算 担 当	維持補修係		
合 計 額			
価 格			
消費税相当額			

内 訳 書

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
費	橋梁保全工事							場所区分:市街地(DID補正)
		橋梁補修工		式	1			A- 1号内訳書
		塗替塗装工		式	1			A- 2号内訳書
		橋面防水工 夜間		式	1			A- 3号内訳書
		区画線工		式	1			A- 4号内訳書
		仮設工		式	1			A- 5号内訳書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		運搬費		式	1			A- 6号内訳書
		安全費		式	1			A- 7号内訳書
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			

A- 2号		塗替塗装工					1式当たり	内訳書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
清掃・水洗い		m ²	590					
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	2回塗り、板桁構造 500m ² 以上1000m ² 未満(1回に付き)	m ²	1,180					
水性塗装剥離剤	0.5kg/m ² 2回分	kg	590					
剥離剤 廃材の回収・積込	2回	m ²	1,180					
素地調整		m ²	590					
下塗り	有機ジンクリッチペイント 300g×2回 はけ・ローラー	m ²	590					
下塗り	弱溶剤形エポキシ樹脂塗料 200g×2層 はけ・ローラー	m ²	590					
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 濃系 はけ・ローラー	m ²	590					
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 濃系 はけ・ローラー	m ²	590					
現場発生品及び支給品運搬	トラッククレーン装置付ベーストラック2t積、吊能力2.9t、有り	t	1.2				施工P-01	
	トラック機種:トラッククレーン装置付ベーストラック2t積、吊能力2.9t DID区間の有無:有り 片道運搬距離(km):5.0km以下							
塗膜くず及び塗膜くず付着物処分	鉛含有	kg	1,200					
計								

A- 2号内訳書(施工P-01)

積算単位: t

標準単価:

現場発生品及び支給品運搬/トラッククレーン装置付ベーストラック2t積、吊能力2.9t、有り

トラック機種:トラッククレーン装置付ベーストラック2t積、吊能力2.9t、DID区間の有無:有り、片道運搬距離(km):5.0km以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			13.79			
K 1	トラック クレーン装置付/ベーストラック2t積 吊能力2.9t	供/日	13.79			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			83.40			
R 1	運転手(特殊)	人	42.15			
R 2	特殊作業員	人	41.25			
R 3						
R 4						
R 5						
材料Z			2.81			
Z 1	軽油/パトロール給油	ℓ	2.81			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{13.79}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{13.79}{13.79} \text{-----} \right. \\
 & + \left(\frac{42.15}{100} \times \text{-----} + \frac{41.25}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{83.40}{42.15+41.25} \text{-----} \\
 & + \left(\frac{2.81}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{2.81}{2.81} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-13.79-83.40-2.81}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

A- 3号		橋面防水工 夜間					1式当たり	内訳書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
舗装版切断 夜間	アスファルト舗装版、15cm以下	m	24			C- 7号単価表		
舗装版切断濁水処理工 夜間	北部地区	式	1			C- 8号単価表		
殻運搬（路面切削） 夜間	有り、3.5km以下	m ³	11			C- 9号単価表		
廃材処理料(北部地区)	A S 殻	m ³	11					
廃材処理料(北部地区)	夜間処理費	m ³	11					
切削オーバーレイ工(即日一層舗設) 夜間	段差すりつけなし、切削深7cm以下、t=5cm	m ²	220			C- 10号単価表		
橋面防水工(補修) 夜間	塗膜系防水(アスファルト系)	m ²	220			C- 11号単価表		
導水テープ		m	18					
排水用導水管	樹脂系φ15	m	49					
水抜きパイプ	床板厚160~190mm	本	8					
フレキシブルチューブ	スラブドレーン用 樹脂用φ25	m	10					
成形目地	アスファルト舗装用 t=5mm、b=30mm	m	67					
端部処理材	端部防水層	m	67					

B- 4号 環境対策工 1式当たり 明細書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
負圧集塵装置	規格:12m3/min	台	6			
負圧集塵装置・基本管理費	規格:12m3/min	台	6			
負圧集塵装置用1次フィルター		枚	126			
負圧集塵装置用2次フィルター		枚	20			
負圧集塵装置用 HEPAフィルター	高性能微粒子フィルター-JISZ8122	枚	3			
吸気用ダクト		m	100			
排気用ダクト		m	60			
真空掃除機	バキュームクリーナー	台	2			
真空掃除機・基本管理費		台	2			
真空掃除機用1次フィルター		枚	18			
真空掃除機用 チャコールフィルター		枚	2			
真空掃除機用 HEPAフィルター	高性能微粒子フィルター-JISZ8122	枚	2			
簡易セキュリテールーム	クリーンルーム	台	1			

環境対策工

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
クリーンルーム用帯電シート	クリーンルーム用	台	1			
エアシャワー		台	2			
エアシャワー・基本管理費		台	2			
エアシャワー用1次フィルター		枚	8			
エアシャワー用 HEPAフィルター		枚	1			
電動ファン付き呼吸用保護具	全面形 Sy185相当型式検定合格品	個	5			
保護眼鏡		個	5			
呼吸用保護具用フィルター		個	840			
使い捨て全身化学防護服	タイベックソフトウェア3相当 JIS T 8115:2015	個	840			
防護手袋	ニトリルラテックス	個	840			
シューズカバー	JIS T 8115:2015	個	840			
ペール缶	樹脂製20L	個	50			
大型土のう		袋	3			

C- 3号 2箇所当たり 単価表

当板補強工（横桁部）
恒久対策（補強例のうち平板当板のみ適用）

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師(A)		人				
橋りょう特殊工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
広幅平鋼	9～25×200～400	t	0.092			
溶接構造用 SM400A	～38mm	t	0.092			
橋梁用 SBHS400	6～28mm	t	0.092			
工事加工費		式	1			
高力ボルト	トルシア S10T M20×55mm	組	33			
高力ボルト	トルシア S10T M20×60mm	組	24			
2液性エポキシ樹脂接着剤	鋼板接着用	kg	6			
計						
1箇所当たり						

C- 7号単価表(施工P-01)

積算単位:m

標準単価:

舗装版切断/アスファルト舗装版、15cm以下

舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K		15.05			
	K 1	コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型) 湿式/切削深20cm級 フレート径φ56cm	供/日	10.24		
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務	R		58.43			
	R 1	特殊作業員/夜間	人	19.96		
	R 2	土木一般世話役/夜間	人	10.88		
	R 3	普通作業員/夜間	人	8.92		
	R 4					
	R 5					
材料	Z		26.52			
	Z 1	コンクリートカッタ(フレート)/径18インチ	枚	22.39		
	Z 2	ガソリン/レギュラー, スタンド渡し	ℓ	2.81		
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場	S					

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{10.24}{100} \times \frac{15.05}{10.24} \right) \right. \\
 & + \left(\frac{19.96}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} + \frac{10.88}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} + \frac{8.92}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} \right) \\
 & + \left(\frac{22.39}{100} \times \frac{26.52}{22.39+2.81} + \frac{2.81}{100} \times \frac{26.52}{22.39+2.81} \right) \\
 & \left. + \frac{100-15.05-58.43-26.52}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

C- 9号単価表(施工P-01)

積算単位: m³

標準単価:

殻運搬(路面切削) / 有り、3.5km以下

DID区間の有無: 有り、運搬距離: 3.5km以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			40.84			
K 1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル / 10t 積級+良好: タイヤ損耗費及び補修費	供/日	40.84			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			45.78			
R 1	運転手(一般) / 夜間	人	45.78			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			13.38			
Z 1	軽油 / パトロール給油	ℓ	13.38			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{40.84}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{40.84}{40.84} \text{-----} \right. \\
 & + \left(\frac{45.78}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{45.78}{45.78} \text{-----} \\
 & + \left(\frac{13.38}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{13.38}{13.38} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100 - 40.84 - 45.78 - 13.38}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

C- 10号		切削ホッパーレイ工(即日一層舗設) 夜間 段差すりつけなし、切削深7cm以下、t=5cm					100㎡当たり	単価表
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
土木一般世話役	夜間	人						
特殊作業員	夜間	人						
普通作業員	夜間	人						
改質アスファルト混合物	改質As 密粒 II型(20)DS3000	t	12.573					
路面切削機運転費(一層舗設、7cm以下) 夜間	ホイール式、切削幅2.0m×23cm、廃材積込装置付、排出ガス対策	日	0.137					
路面清掃車運転費(一層舗設、7cm以下) 夜間	ブラシ・四輪式、路面切削工事用、ホッパー容量1.5m ³	日	0.137					
アスファルトフィニッシャー運転費(一層舗設、7cm以下) 夜間	ホイール型、舗装幅2.3~6.0m、排対型(2014年規制)	日	0.137					
ロードローラー運転費(一層舗設、7cm以下) 夜間	マカダム・超低騒音型、運転質量10t 締固め幅2.1m、排対型	日	0.137					
タイヤローラー運転費(一層舗設、7cm以下) 夜間	普通型・超低騒音型、運転質量13~14t、排対型(2014年規制)	日	0.137					
諸雑費		式	1					
計								
1㎡当たり								

C- 12号単価表(施工P-01)

積算単位:孔

標準単価:

コンクリート削孔(電動式コアボーリングマシン) / 80mmを超え100mm以下、500mm以下

アンカ材径:80mmを超え100mm以下、削孔深さ:500mm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K						
K 1						
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			74.87			
R 1	土木一般世話役/夜間	人	34.65			
R 2	特殊作業員/夜間	人	31.61			
R 3						
R 4						
R 5						
材料Z			25.13			
Z 1	ダイヤモンドビット/φ110mm スタンダード	個	25.13			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \right. \\
 & + \left(\frac{34.65}{100} \times \frac{74.87}{34.65+31.61} + \frac{31.61}{100} \times \frac{74.87}{34.65+31.61} \right) \times \frac{74.87}{34.65+31.61} \\
 & + \left(\frac{25.13}{100} \times \frac{25.13}{25.13} \right) \times \frac{25.13}{25.13} \\
 & \left. + \frac{100-74.87-25.13}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

C- 13号単価表(施工P-01)

積算単位:孔

標準単価:

コンクリート削孔(電動式コアボーリングマシン) / 43mmを超え54mm以下、500mm以下

アンカ材径:43mmを超え54mm以下、削孔深さ:500mm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K					
	K 1					
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務	R		81.51			
	R 1 土木一般世話役/夜間	人	37.72			
	R 2 特殊作業員/夜間	人	34.42			
	R 3					
	R 4					
	R 5					
材料	Z		18.49			
	Z 1 ダイヤモンドビット/φ64.7mm スタンダード	個	18.49			
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場	S					

P' =

× {

$$+ \left(\frac{37.72}{100} \times \frac{37.72}{37.72+34.42} + \frac{34.42}{100} \times \frac{34.42}{37.72+34.42} \right) \times \frac{81.51}{37.72+34.42}$$

$$+ \left(\frac{18.49}{100} \times \frac{18.49}{18.49} \right) \times \frac{18.49}{18.49}$$

$$+ \frac{100-81.51-18.49}{100} \} =$$

C- 14号単価表(施工P-01)

積算単位: m³

標準単価:

殻運搬/コンクリート(無筋)構造物とりこわし、機械積込、有り、3.3km以下

殻発生作業:コンクリート(無筋)構造物とりこわし、積込工法区分:機械積込、DID区間の有無:有り、運搬距離:3.3km以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			40.77			
K 1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル/10t積級+良好:タイヤ損耗費及び補修費	供/日	40.77			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			44.82			
R 1	運転手(一般)	人	44.82			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			14.41			
Z 1	軽油/パトロール給油	ℓ	14.41			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{40.77}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{40.77}{40.77} \text{-----} \right. \\
 & + \left(\frac{44.82}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{44.82}{44.82} \text{-----} \\
 & + \left(\frac{14.41}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{14.41}{14.41} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-40.77-44.82-14.41}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

12号橋（産川橋）橋梁補修工事

材料費(30)

材料調書全体明細表

(単位:円)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
2液性エポキシ樹脂接着剤	鋼板接着用	kg	6			
シール材		kg	3.028			
バックアップ材		m	0.8			
フレキシブルチューブ	スラブドレーン用 樹脂用φ25	m	10			
低圧注入器具		個	22			
専用プライマー		缶	1			
導水テープ		m	18			
広幅平鋼	9～25×200～400	t	0.092			
成形目地	アスファルト舗装用 t=5mm、b=30mm	m	67			
排水柵	ステンレス排水装置 SUS304 目皿t=6.0mm含む	個	4			
排水用導水管	樹脂系φ15	m	49			
断面修復材		m ³	0.013			
橋梁用 SBHS400	6～28mm	t	0.092			

12号橋（産川橋）橋梁補修工事

材料費(30)

材料調書全体明細表

(単位:円)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
水性塗装剥離剤	0.5kg/m ² 2回分	kg	590			
水抜きパイプ	床板厚160～190mm	本	8			
注入材		kg	0.084			
溶接構造用 SM400A	～38mm	t	0.092			
目地補修材	4.0リットル／缶セット	缶セット	1			
端部処理材	端部防水層	m	67			
高力ボルト	トルシア S10T M20×55mm	組	33			
高力ボルト	トルシア S10T M20×60mm	組	24			
養生シート損料	中段足場養生無し	m ²	1,146			
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ 15～18 白	kg	45			
ガラスビーズ	0.106～0.850mm	kg	1.975			
接着用プライマー	区画線用	kg	1.975			
改質アスファルト混合物	改質As 密粒 II型(20)DS3000	t	27.661			

12号橋（産川橋）橋梁補修工事

材料費(30)

材料調書全体明細表

(単位:円)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
負圧集塵装置	規格:12m3/min	台	6			
負圧集塵装置・基本管理費	規格:12m3/min	台	6			
負圧集塵装置用1次フィルター		枚	126			
負圧集塵装置用2次フィルター		枚	20			
負圧集塵装置用 HEPAフィルター	高性能微粒子フィルター-JISZ8122	枚	3			
吸気用ダクト		m	100			
排気用ダクト		m	60			
真空掃除機	ハベキユムクリーナー	台	2			
真空掃除機・基本管理費		台	2			
真空掃除機用1次フィルター		枚	18			
真空掃除機用チャコールフィルター		枚	2			
真空掃除機用 HEPAフィルター	高性能微粒子フィルター-JISZ8122	枚	2			
簡易セキュリテイルーム	クリーンルーム	台	1			

12号橋（産川橋）橋梁補修工事		材料費(30)				材料調書全体明細表	
(単位:円)							
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考	
クリーンルーム用帯電シート	クリーンルーム用	台	1				
エアシャワー		台	2				
エアシャワー・基本管理費		台	2				
エアシャワー用1次フィルター		枚	8				
エアシャワー用 HEPAフィルター		枚	1				
電動ファン付き呼吸用保護具	全面形 Sy185相当型式検定合格品	個	5				
保護眼鏡		個	5				
呼吸用保護具用フィルター		個	840				
使い捨て全身化学防護服	タイベックソフトウェア3相当 JIS T 8115:2015	個	840				
防護手袋	ニトリラテックス	個	840				
シューズカバー	JIS T 8115:2015	個	840				
ヘルメット	樹脂製20L	個	50				
無収縮モルタル	12.5kg	袋	0.285				

数量総括表

数量総括表 (1/2)

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
断面修復工						V=0.011*(1+0.18)
	断面補修工	左官工法	ポリマーセメントモルタル	構造物	1.00	(ロス率18%含む)
ひびわれ補修工						
	低圧注入工法	補修延長		m	6.55	
		注入材	エポキシ系注入材	kg	0.08	
		シーリング材		kg	2.21	
		低圧注入器		個	22	
鋼橋補修工						
	当て板補強工	当板補強工	横桁部	箇所	2	SM400A
		鋼材重量	SS400A t=6	kg	54.9	
			SS400A t=9	kg	38.0	
		高力ボルト本数	S10T M20 L=55	本	33	
			S10T M20 L=60	本	24	
		2液性エポキシ樹脂接着剤	鋼板接着用	kg	6	
		無収縮モルタル工		m ³	0.001	
排水柵取換工						
	排水管撤去	鋼管		m	0.4	
	排水管設置			m	0.4	
	排水柵取換工	排水柵工	ステンレス排水装置	個	4	
伸縮目地補修工						
	伸縮目地補修工	既設目地撤去		m	0.8	
		目地設置	特殊弾性樹脂材	m	0.8	
		補修材料	SMシーリング材	缶セット	1	
			専用プライマー	缶	1	
			バックアップ材	m	0.8	
鋼橋塗装工						
	塗替塗装工	清掃・水洗い		m ²	590	
		塗膜剥離剤塗布・塗膜除去		m ²	1,180	2回
		水性剥離剤	0.5kg/m ²	kg	590	2回分
		剥離剤 廃材の回収・積込		m ²	1,180	2回
		素地調整	II種ケレン	m ²	590	
		下塗り塗装	有機ジンクリッチペイント	m ²	590	300g×2回(はけ・ローラー)
		下塗り塗装	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗装下塗	m ²	590	200g×2回(はけ・ローラー)
		中塗り塗装	弱溶剤形ふっ素樹脂塗装用中塗・濃系	m ²	590	はけ・ローラー
		上塗り塗装	弱溶剤形ふっ素樹脂塗装上塗・濃系	m ²	590	はけ・ローラー
		現場発成品運搬		t	1.2	
		塗膜くず及び塗膜くず付着物処理	鉛含有	kg	1,200	
橋面防水工						
	舗装撤去工					
		アスファルト舗装版切断	t=50mm	m	24.5	
		殻運搬処理	路盤切削・アスファルト塊	m ³	11.0	夜間処理
	切削オーバーレイ工					
		切削オーバーレイ	改質AS密粒度II型(20)・t=50mm	m ²	220.5	
	橋面防水工	橋面防水層(補修)	塗膜系防水(アスファルト加熱型)	m ²	220.5	
	床版排水工					
		導水テープ	厚さ3mm 幅30mm 長さ 15m/本	m	18.2	
		排水用導水管	樹脂系 φ15	m	49.0	
		床版用水抜きパイプ	L=550mm(L字管) φ42.7(SUS304)	本	8	
		フレキシブルチューブ	Φ20mm(SUS304) 1.4m/本	m	10.0	
		床版削孔	床版水抜きパイプ用 Φ50	孔	8	
			床版水抜きパイプ用 Φ100	孔	8	
		Co殻運搬・処理		m ³	0.013	夜間処理
	端部処理工					
		端末処理材	端部防水層 b=150mm	m	67.2	
	成形目地工					
		成型目地材	t=5mm b=35mm	m	67.2	
区画線工						
	区画線工	実線15cm・白色	材料費	m	73.5	路側線・中央線
		ゼブラ30cm・白色	材料費	m	3.7	停止線

数量総括表 (2/2)

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
仮設工						
	補修用足場	タイプA 吊足場(桁高h<1.5)	主体足場	式	1	A=382.2掛㎡
		床面シート張防護工		式	1	A=382.2掛㎡
		剥離剤用養生シート工	3回	㎡	382	
		タイプB 朝顔	両側朝顔	式	1	A=145.5掛㎡
		板張防護工	両側朝顔	式	1	A=145.5掛㎡
		シート張防護工	両側朝顔	式	1	A=145.5掛㎡
共通仮設費						
安全費	環境対策工	負圧集塵装置	規格:12m3/min	台	6	3台×2ヶ月
		負圧集塵装置 基本管理費	規格:12m3/min	台	6	"
		負圧集塵装置用1次フィルター		枚	126	3台×42日
		負圧集塵装置用2次フィルター		枚	27	3台×9枚
		負圧集塵装置用HEPAフィルター	高性能微粒子フィルター	枚	3	3台×1枚
		吸気用ダクト		m	100	
		排気用ダクト		m	60	
		真空掃除機	バキュームクリーナー	台	2	1台×2ヶ月
		真空掃除機 基本管理費		台	2	1台×2ヶ月
		真空掃除機用1次フィルター		枚	18	2台×9回
		真空掃除機用チャコールフィルター		枚	2	2台×1枚
		真空掃除機用HEPAフィルター	高性能微粒子フィルター	枚	2	2台×1枚
		簡易セキュリテールーム	クリーンルーム	枚	1	
		クリーンルーム用帯電シート	クリーンルーム用	枚	1	
		エアシャワー		台	2	1台×2ヶ月
		エアシャワー 基本管理費		台	2	1台×2ヶ月×4回
		エアシャワー用1次フィルター		枚	8	1枚×8ヶ月×4回
		エアシャワー用HEPAフィルター		枚	1	1台×1枚
		電動ファン付き呼吸用保護具	全面型	個	5	5人分
		保護眼鏡		個	5	5人分
		呼吸器用保護具用フィルター		個	840	5人×4着×42日
		使い捨て全身化学防護服	タイベックソフトウェア	個	840	"
		防護手袋	ニトリルテラックス	個	840	"
		シューズカバー		個	840	"
		ペール缶	樹脂製20L	個	50	
		大型土のう		袋	3	

断面修復工

1. 断面修復工数量

下記より

鉄筋ケレン・防錆処理を含む

【補修体積詳細】

箇所	補修箇所	体積(m ³)	摘要
上部工	地覆・床版・沓座モルタル・縁石	0.011	
断面修復工合計		0.011	

(1) 断面修復工数量内訳

① 上部工

番号	対象部材	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	箇所数	周長(m)	面積(m ²)	体積(m ³)
①	地覆	0.600	0.100	0.030	1	1.400	0.060	0.00180
②	床版	0.150	0.100	0.030	1	0.500	0.015	0.00045
③	地覆	0.200	0.150	0.050	1	0.700	0.030	0.00150
⑥	地覆	0.100	0.100	0.050	1	0.400	0.010	0.00050
⑦	地覆	0.400	0.250	0.050	1	1.300	0.100	0.00500
④	沓座モルタル	0.050	0.050	0.010	1	0.200	0.003	0.00003
⑤	縁石	0.250	0.100	0.050	1	0.700	0.025	0.00125
上部工補修工合計					7	5.200	0.243	0.01053

ひびわれ補修工

1. ひびわれ注人工数量

(1) 補修延長

(5) 補修延長詳細より

上部工 L1 = 6.550 m

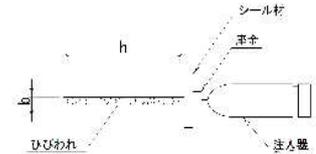
(2) 注入材

【注入材の注入量の求め方】

ひびわれ注入量は、注入深さ60mm、ひびわれ幅0.2mmとした概算値にエポキシ系注入材の比重 1150 Kg/m³を考慮して算出した参考値である。1mあたりの換算注入量は以下の通り。

$$V = b \times h \times L \times \rho$$

V	: ひび割れ注入材の注入量	0.0092 (kg/m)
b	: ひび割れ幅	0.0002 (m)
h	: ひび割れ深さ	0.04 (m)
L	: ひび割れ延長	1.00 (m)
ρ	: エポキシ系注入材	1150 (kg/m ³)



	補修延長	1m当りの注入量	ロス率	
注入材合計	6.550	× 0.0092	× 1.4	= 0.084 kg

(3) シール材

【シール材の必要量の求め方】

注入を行う際のシール材の必要量は幅50mm、厚さ3mm、単位体積重量1700kg/m³として算出する。

$$\text{シール材必要量} = 0.05 \times 0.003 \times 1700 = 0.260 \text{ kg/m}$$

	補修延長	1m当りのシール材	ロス率	
シール材合計	6.55	× 0.260	× 1.3	= 2.214 kg

(4) 低圧注入器

注入器は300mm間隔で設置する。

	補修延長	1m当りのシール材	
低圧注入器合計	6.55	÷ 0.30	= 22 個

(5) 補修延長詳細

1) 補修延長合計

部 材	補修延長		摘 要
	単位	延長	
地覆・A1,A2橋台堅壁・親柱	m	6.550	
合 計	m	6.550	

2) 補修延長内訳

① 上部工

番号	対象部材	幅(mm)	長さ(m)	本数	延長(m)
1	地 覆	0.350	0.500	1	0.500
2	A1橋台堅壁	0.350	0.500	1	0.500
3	A2橋台堅壁	0.300	0.750	1	0.750
4	親 柱	0.300	0.300	1	0.300
5	地 覆	0.500	1.000	1	1.000
6	地 覆	0.500	1.400	1	1.400
7	地 覆	0.500	2.100	1	2.100
合計	上部工合計			7	6.550

鋼桁当て板補強工

1. 鋼桁当て板補強工

(1) 鋼材重量

(1) 材料計算書

補修箇所	部材名	材種	種別	寸法 (mm)	長さ (mm)	NET	単位質量 (kg/m, kg/m ²)	単体重量 (kg)	数量	質量 (kg)
G1主桁部	WEB	SM400A	PL	300 × 6	500	100	47.100	7.065	1	7.1
	〃	〃	〃	300 × 6	200	100	47.100	2.826	1	2.8
	STIFF	〃	〃	94 × 6	300	100	47.100	1.328	2	2.7
	L. FLG	〃	〃	100 × 9	200	100	70.650	1.413	1	1.4
	〃	〃	〃	100 × 9	500	100	70.650	3.533	1	3.5
	取付ボルト	S10T	TCB	M20	55	100	-	-	21	-
小計										17.5
G7端横桁	WEB	SM400A	PL	150 × 6	1802	100	47.100	12.731	2	25.5
	L. FLG	〃	〃	96 × 9	1802	100	70.650	12.222	2	24.4
	〃	〃	〃	200 × 9	1802	100	70.650	25.462	1	25.5
	取付ボルト	S10T	TCB	M20	55	100	-	-	12	-
	〃	〃	〃	M20	60	100	-	-	24	-
小計										75.4
SM400A			PL	× 9	-	100	-	-		54.9
〃			〃	× 6	-	100	-	-		38.0
S10T			TCB	M20	55	-	-	-	33	-
〃			〃	M20	60	-	-	-	24	-

排水柵取換工

補修箇所	種別	規格	箇所数	基	摘要
歩車道境界部(上下線)	排水柵撤去	□200×□200	4	4	
	排水柵新設	SUS304 t=6mm PIPEΦ102 t=1.0mm	4	4	

伸縮目地補修工

補修箇所	種別	規格	単位	数量	摘要
歩車道境界部(上下線)	排水柵撤去		m	0.80	地覆立ち上がり:0.2m×4
	排水柵新設	特殊弾性樹脂材	m	0.80	
	補修材料	SMシーラ材	缶セット	1	
		専用プライマー	缶	1	
		バックアップ材	缶	1	

塗 替 塗 装 工

1. 塗装塗替工数量

項 目		規 格	単 位	数 量	摘 要
鋼 橋 塗 装 工	清掃・水洗い		m ²	590.00	
	塗膜剥離剤塗布・塗膜除去		m ²	1180.00	2回
	水性剥離剤	0.5kg/m ²	kg	590.00	2回分
	剥離剤 廃材の回収・積込		m ²	1180.00	2回
	素地調整	II種ケレン	m ²	590.00	
	下塗り塗装	有機ジンクリッチペイント	m ²	590.00	300g×2回 はけ・ローラー
	下塗り塗装	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗装下塗	m ²	590.00	200g×2回 はけ・ローラー
	中塗り塗装	弱溶剤形ふっ素樹脂塗装用中塗・濃系	m ²	590.00	はけ・ローラー
	上塗り塗装	弱溶剤形ふっ素樹脂塗装上塗・濃系	m ²	590.00	はけ・ローラー
	現場発生品運搬		t	1.200	塗膜廃材・防護服等
塗膜くず及び塗膜くず付着物処理	鉛含有	kg	1,200.00		

2. 現場塗装面積内訳表

	単 位	現場塗装面積数量		摘 要
		塗装面積内訳	鋼橋塗装塗替工	
主 桁	m ²	488.9	590.6	
端横桁	m ²	33.48		
中間横桁	m ²	39.6		
分配横桁	m ²	26.52		
支 承	m ²	2.1		
合 計	m ²	590.6	590.6	

(2) 塗装面積計算

塗 装 面 積 計 算 (1/2)

使用箇所	塗 装 面 積 計 算					摘 要
	塗装箇所	寸 法 (mm)		塗装面数	塗装面積 (m ²)	
		幅	長さ			
		2. 主 桁 G1,G7				
H	1	2.972	25.060	1	74.48	H-912
U.FLG	1	-0.300	25.060	1	-7.52	
Stiff	5	0.090	0.844	2	0.76	
〃	4	0.100	0.844	2	0.68	
H.T.B	36	0.00257		1	0.09	U.Flg
〃	112	0.00670		1	0.75	
Sole	1	0.022	1.168	1	0.03	Fix
〃	1	0.022	1.328	1	0.03	Mov
				Σ	69.30	
				2Σ	138.60	
		主 桁 G2~G6				
H	1	2.972	25.060	1	74.48	H-912
U.FLG	1	-0.300	25.060	1	-7.52	
Stiff	10	0.090	0.844	2	1.52	
〃	4	0.100	0.844	2	0.68	
H.T.B	36	0.00257		1	0.09	U.Flg
〃	112	0.00670		1	0.75	
Sole	1	0.022	1.168	1	0.03	Fix
〃	1	0.022	1.328	1	0.03	Mov
				Σ	70.06	
				5Σ	350.30	
			主桁合計		488.90	

塗 装 面 積 計 算 (2/2)

使用箇所	塗 装 面 積 計 算					摘 要
	塗装箇所	寸 法 (mm)		塗装面数	塗装面積 (m2)	
		幅	長さ			
		3. 端横桁				
U.FLG	1	0.215	1.677	1	0.36	
WEB	1	0.422	1.819	2	1.54	
L.FLG	1	0.414	1.980	1	0.82	
H.T.B	10	0.00670		1	0.07	
				Σ	2.79	
				12Σ	33.48	
		4. 中間横桁				
[1	0.813	1.980	1	1.61	
H.T.B	6	0.00670		1	0.04	
				Σ	1.65	
				24Σ	39.60	
		5. 分配横桁				
U.FLG	12	0.388	1.982	1	9.23	
WEB	6	0.596	1.982	2	14.18	
Guss	10	0.350	0.405	1	1.42	
H.T.B	252	0.00670		1	1.69	
				Σ	26.52	
		6. 支 承				
LB	14	0.150		1	2.10	
				Σ	2.10	

橋面防水工

1. 舗装撤去工

(1) アスファルト舗装版切断

補修箇所			規 格	長さ(m)	箇所数	切断長(m)	摘 要
路面	車道部	橋軸方向	アスファルト舗装版厚 t=50mm	24.500	1	24.5	

(2) アスファルト舗装版破碎

補修箇所		規 格	長さ(m)	幅(m)	面積(m ²)	摘 要
路面	車道部	アスファルト舗装版厚 t=50mm	24.500	9.000	220.5	

(3) 殻運搬処理(As魂)

補修箇所		規 格	厚さ(m)	長さ(m)	幅(m)	体積(m ³)	摘 要
橋面	車道部	As魂t=50mm	0.050	24.500	9.000	11.0	

2. 切削オーバーレイ工

(1) 車道部

(1) アスファルト舗装

補修箇所		規 格	長さ(m)	幅(m)	面積(m ²)	摘 要
橋面	車道部	密粒度アスファルト(13)改質Ⅱ型 t=50mm	24.500	9.000	220.5	

3. 橋面防水工

(1) 防水工面積

1) 橋面防水層

補修箇所		規 格	長さ(m)	幅(m)	面積(m ²)	摘 要
橋面	車道部	塗膜系防水(アスファルト加熱型)	24.500	9.000	220.5	

4. 床板排水工

(1) 床版排水工

設置箇所		細 別	規 格	延長(m)	本	総延長(m)	摘 要
橋 面	終点側端部	導水テープ	厚3mm×幅30mm×長15m	9.090	2	18.2	
	起点・終点側端部	導水パイプ	φ 15mm	24.500	2	49.0	
	歩車道境界部	床版用水抜パイプ	床版厚 160~190mm		8		
		フレキシブルチューブ	スラブドレーン用 樹脂用 φ 20	1.250	8	10.0	1本当り長さ L=1.4m

(2) コンクリート削孔

補修箇所		規 格	延長(m)	本	箇所数	総延長(m)	摘 要
床版用水抜きパイプ設置部		Φ 50mm	0.160	1	8	1.280	
		Φ 100mm	0.050	1	8	0.400	

(2) コンクリート殻処分

補修箇所		規 格	長さ(m)	本	体積(m ³)	摘 要
床版削孔部		φ 50mm	0.160	8	0.003	
		φ 100mm	0.160	8	0.010	

5. 端部処理工

1) 端末処理材

補修箇所			規格	長さ(m)	本	総延長(m)	摘要
橋面端部	車道部	直角方向	端部保護層 b=150mm	24.500	2	49.0	
		橋軸方向		9.090	2	18.2	
端末処理材合計						67.2	

6. 成形目地工

1) 成型目地材

補修箇所			規格	長さ(m)	本	総延長(m)	摘要
橋面端部	車道部	直角方向	成型目地材 t=5mm b=35mm	24.500	2	49.0	
		橋軸方向		9.090	2	18.2	
成型目地材合計						67.2	

区画線工

1. 区画線施工延長

	規 格	単 位	長さ(m)	箇所数	施工延長(m)	摘 要
中心線	W15cm・白色・実線	m	24.500	1	73.5	
外側線	W15cm・白色・実線	m	24.500	2		
停止線	W30cm・白色・セブテラ	m	3.700	1	3.7	

仮設工（吊足場）

1. 吊り足場

足場の種類		規 格	吊り足場形状			箇所数	数 量	摘 要
			幅(m)	高さ(m)	延長(m)			
タイプA1	吊足場(桁高h<1.5)	主体足場	15.600		24.500	1	382.2	
床面シート張防護設置時			15.600		24.500	1	382.2	足場架設時
床面シート張防護設置時			15.600		24.500	2	764.4	剥離剤塗布後
タイプB	朝顔	両側朝顔		2.900	25.100	2	145.6	
	板張防護工	両側朝顔		2.900	25.100	2	145.6	
	シート張防護工	両側朝顔		2.900	25.100	2	145.6	

1日未満で完了する作業の積算について(I-12-①-1)

	単位	設計数量 (Xi)	1日あたり 標準作業量 (Di)
実線 W=15cm	m	73	1000
破線 W=15cm	m		900
ゼブラ W=30cm	m	3	525
ゼブラ W=45cm	m		450
矢印・記号・文字	m		400
消去(削り式)	m		300

$$\Sigma (Xi/Di) = 73 / 1000 + 0 / 900 + 3 / 525 + 0 / 450 + 0 / 400 = 0.079 < 0.50 \text{ (半日)}$$

$$\alpha \Sigma (Xi/Di) = \alpha \times (73 / 1000 + 0 / 900 + 3 / 525 + 0 / 450 + 0 / 400) = 1.00$$

$$\alpha = 12.704 \div 12.7$$

修正作業日当たり標準作業

実線 W=15cm D'1 = $\alpha \times X1 = 12.7 \times 73 = 927$ m/日
(463 m/半日)

破線 W=15cm D'2 = $\alpha \times X2 = 12.7 \times 0 = 0$ m/日
(0 m/半日)

ゼブラ W=30cm D'3 = $\alpha \times X3 = 12.7 \times 3 = 38$ m/日
(19 m/半日)

ゼブラ W=45cm D'4 = $\alpha \times X4 = 12.7 \times 0 = 0$ m/日
(0 m/半日)

矢印・記号・文字 D'5 = $\alpha \times X4 = 12.7 \times 0 = 0$ m/日
(0 m/半日)

消去(削り式) D'6 = $\alpha \times X4 = 12.7 \times 0 = 0$ m/日
(0 m/半日)

実線 W=15cm : 労務費は $\frac{463}{(半日分)}$ m 材料費は $\frac{73}{(設計数量)}$ m

破線 W=15cm : 労務費は $\frac{0}{(半日分)}$ m 材料費は $\frac{0}{(設計数量)}$ m

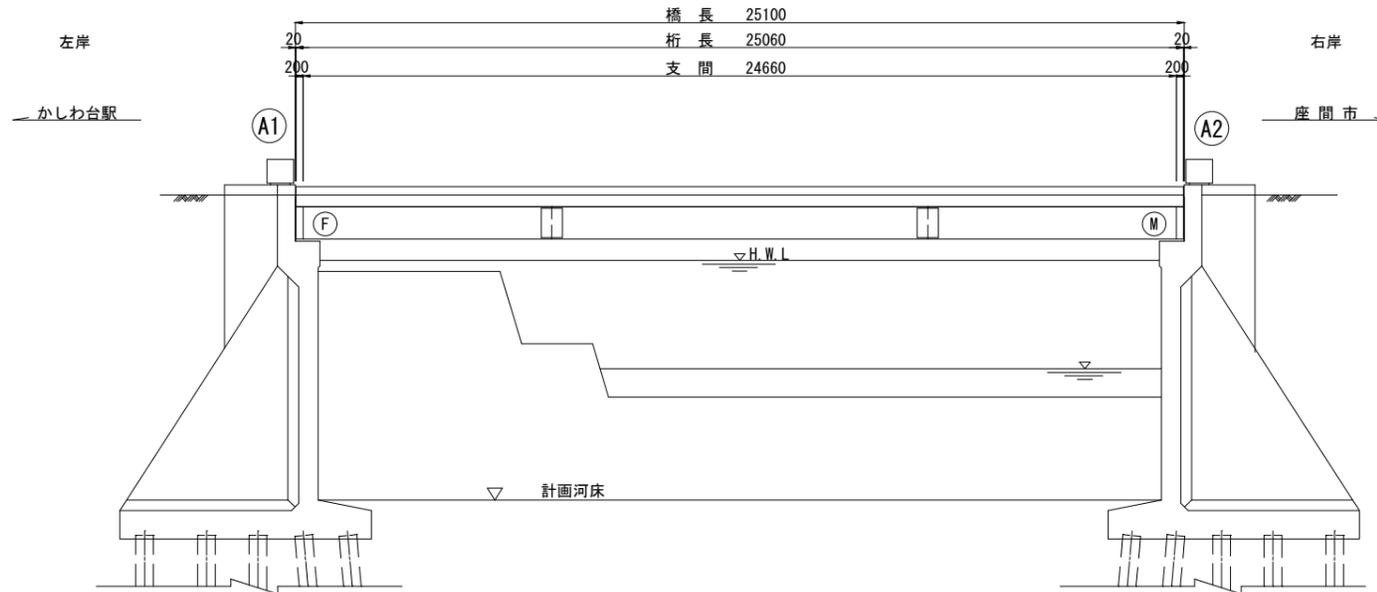
ゼブラ W=30cm : 労務費は $\frac{19}{(半日分)}$ m 材料費は $\frac{3}{(設計数量)}$ m

ゼブラ W=45cm : 労務費は $\frac{0}{(半日分)}$ m 材料費は $\frac{0}{(設計数量)}$ m

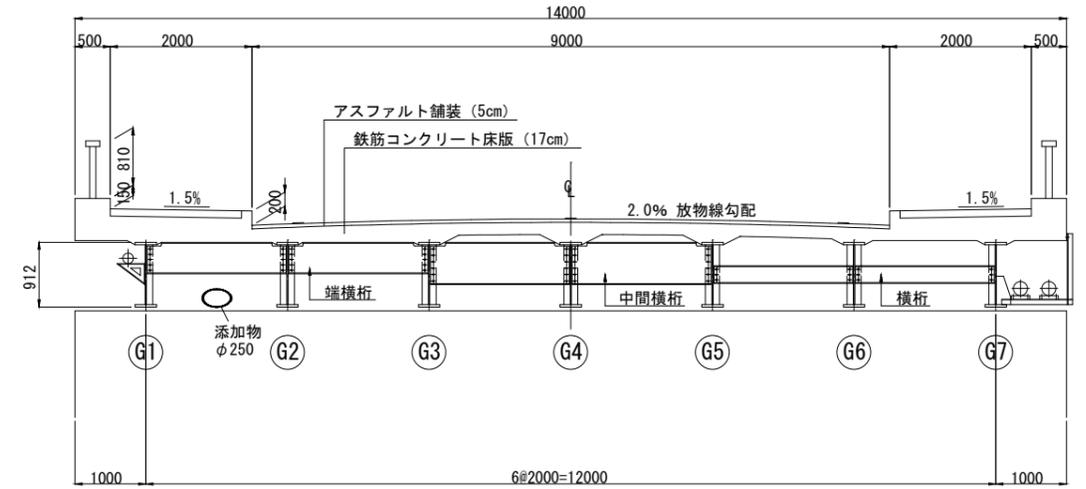
矢印・記号・文字 : 労務費は $\frac{0}{(半日分)}$ m 材料費は $\frac{0}{(設計数量)}$ m

現況一般図

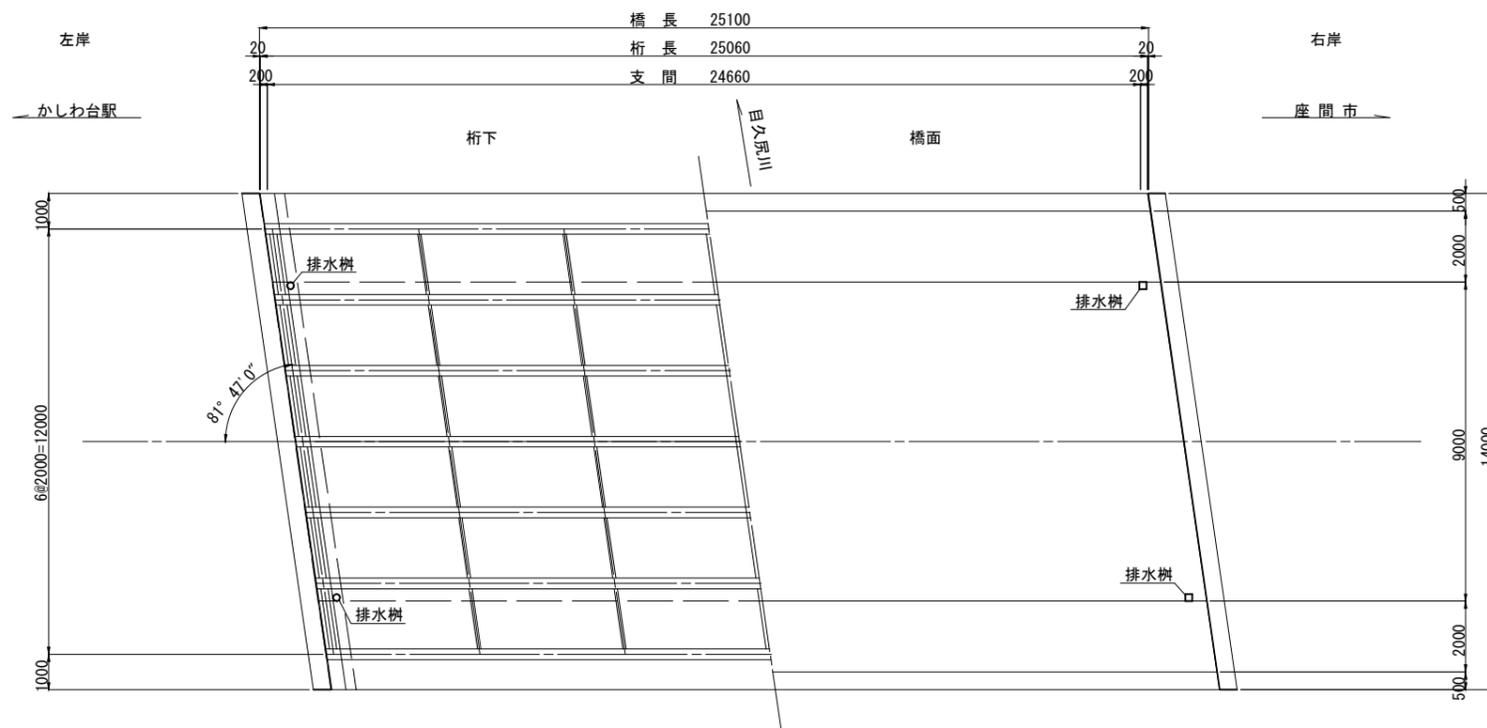
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



設計条件

設計条件	活荷重	TL-20	
	温度変化	±10°C	
	乾燥収縮	±10°C	
	地震係数	水平震度 0.24 鉛直震度 0	
許容応力度	鉄筋	異形棒鋼 SD30	1800 kg/cm ² (水中) 1600 kg/cm ²
		コンクリート	普通丸鋼 SR24
	曲げ圧縮応力度		80 kg/cm ²
	支圧応力度		68 kg/cm ²
	応せん断		腹鉄筋のある場合 20 kg/cm ² 腹鉄筋のない場合 95 kg/cm ²
	付着応力度	異形棒鋼 SD30	14 kg/cm ²
		普通丸鋼 SR24	7 kg/cm ²
	コンクリート	σ _{ck} 設計基準強度	240 kg/cm ²
	基礎杭	支持力	80 t/本
	粗骨材最大寸法		20 mm
たわみ許容量 L/20000/L		30 mm	

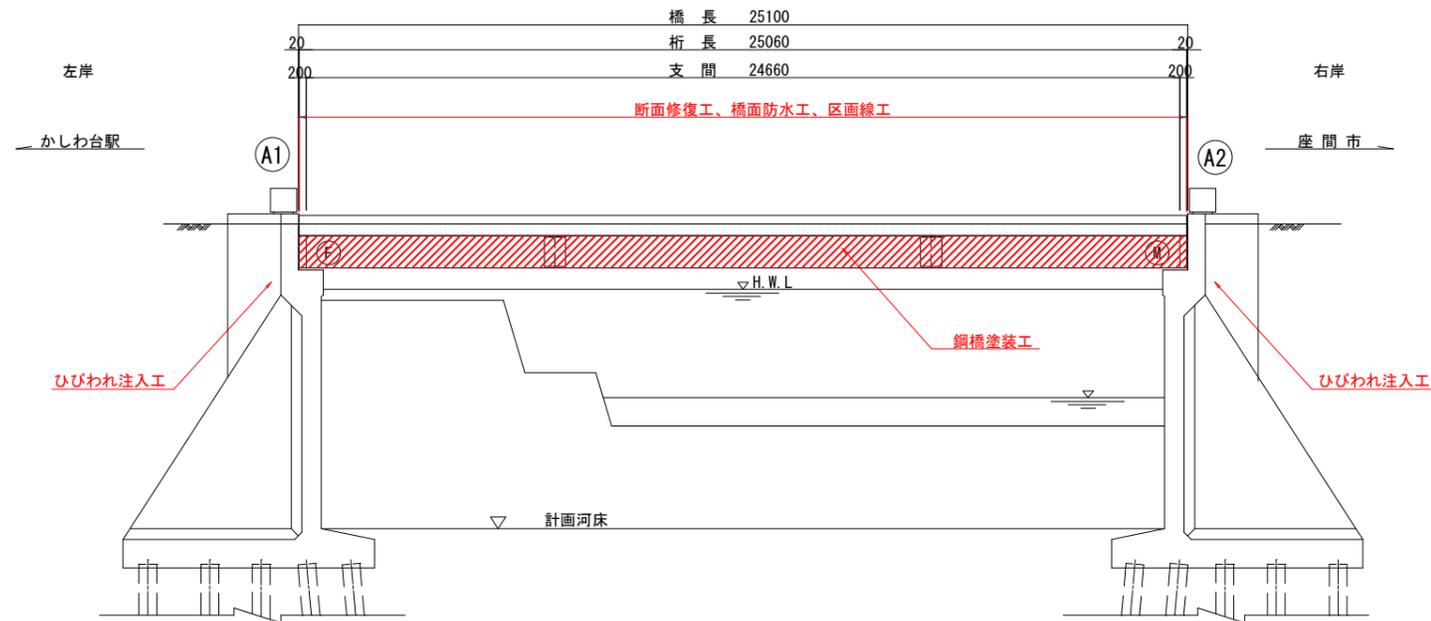
上部工寸法

橋長	25.100	H鋼桁
桁長	25.060	
桁高	912	
支間	24.660	
幅員	13.000 (2.000×2+9.000)	
角度	右 81° 47'	
縦断勾配	LEVEL	
横断勾配	2%	

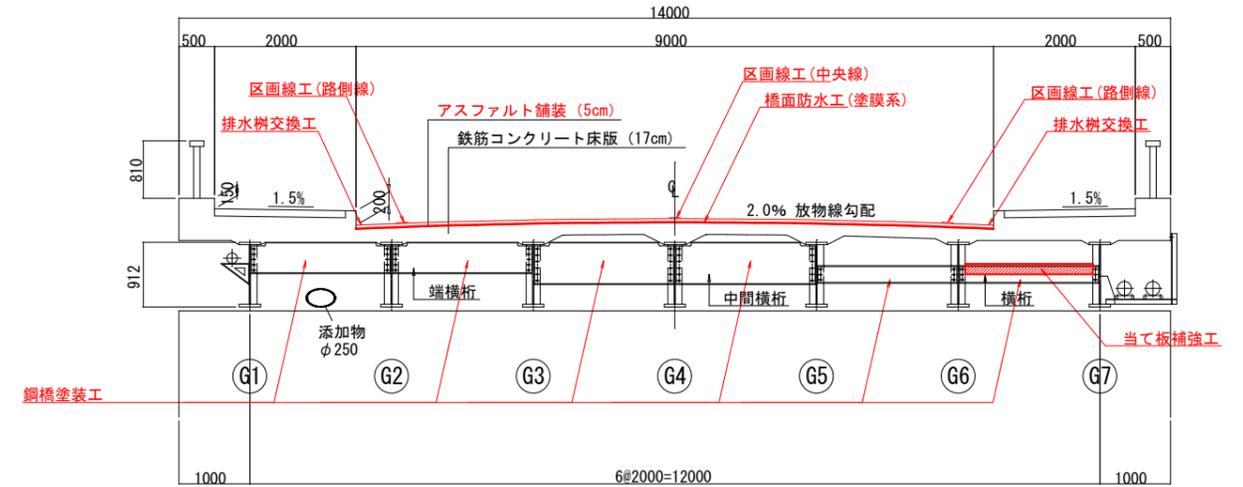
工事名	12号橋 (産川橋) 橋梁補修工事		
橋梁名	12号橋 (産川橋)		
工事場所	海老名市 柏ヶ谷一丁目	地内	
図面名	現況一般図	縮尺	図示
図面番号	全 8 葉の内第 1 号		
神奈川県海老名市役所			

補修一般図

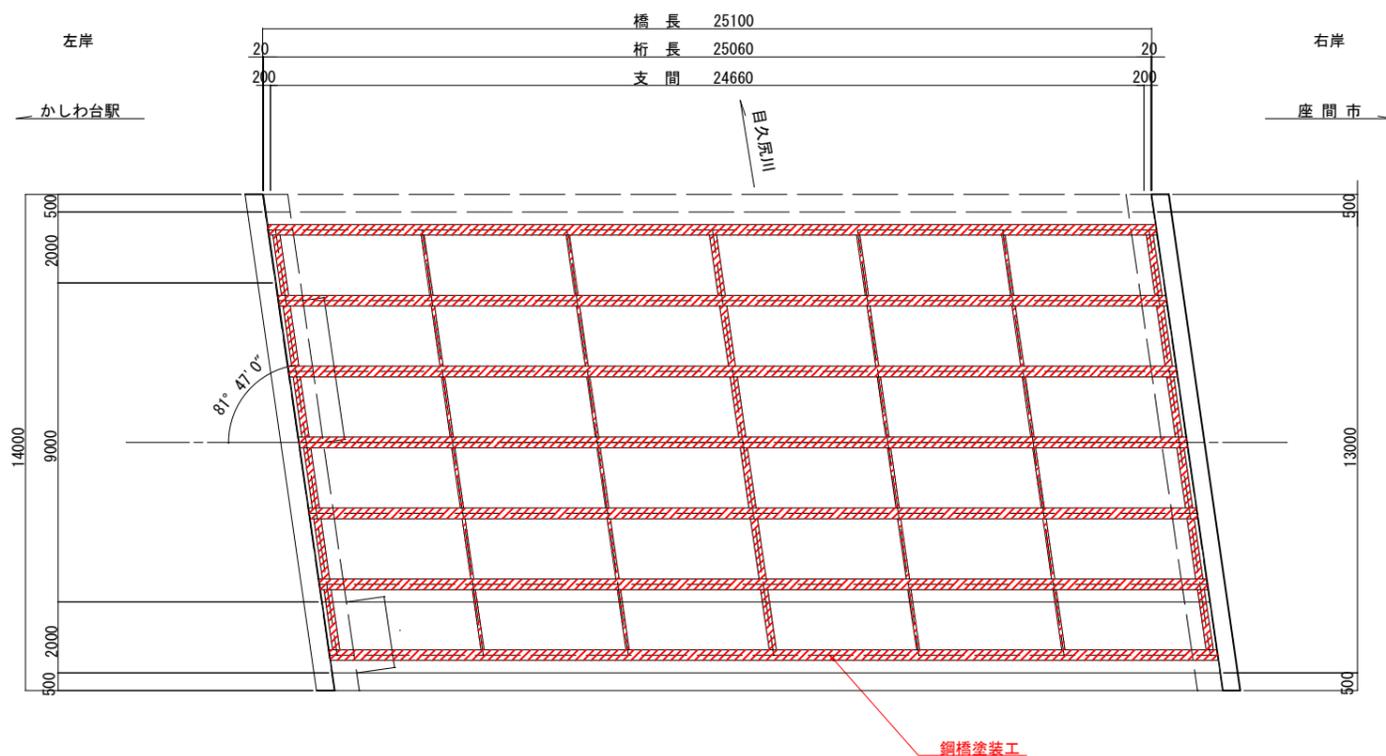
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100

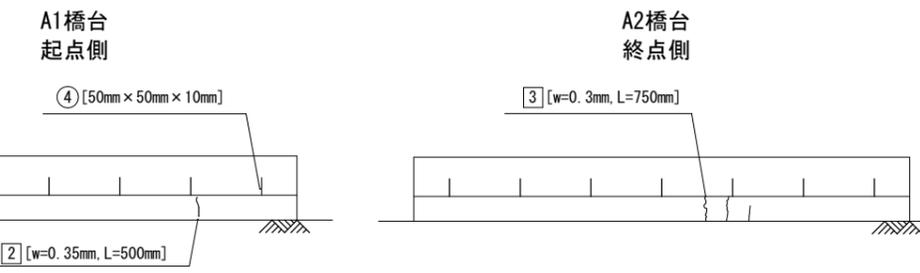
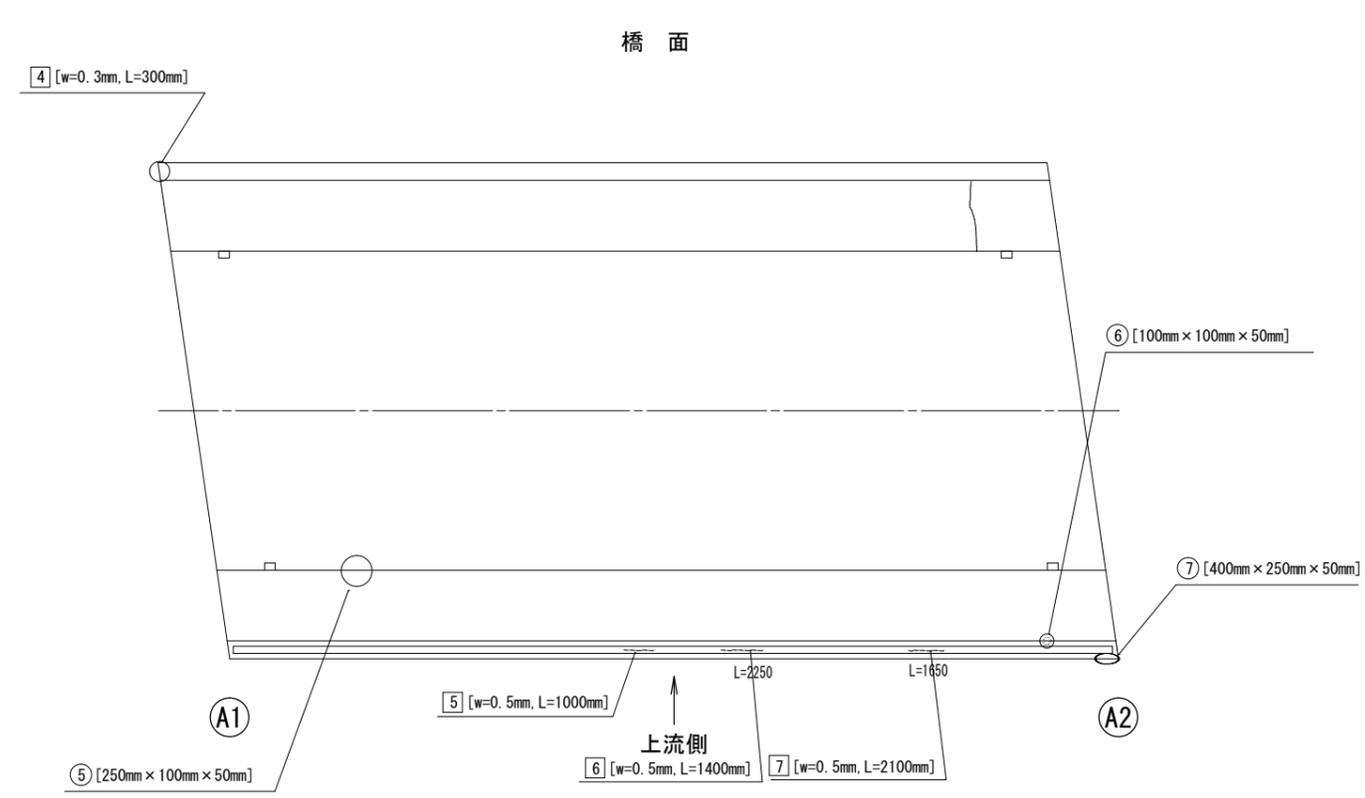
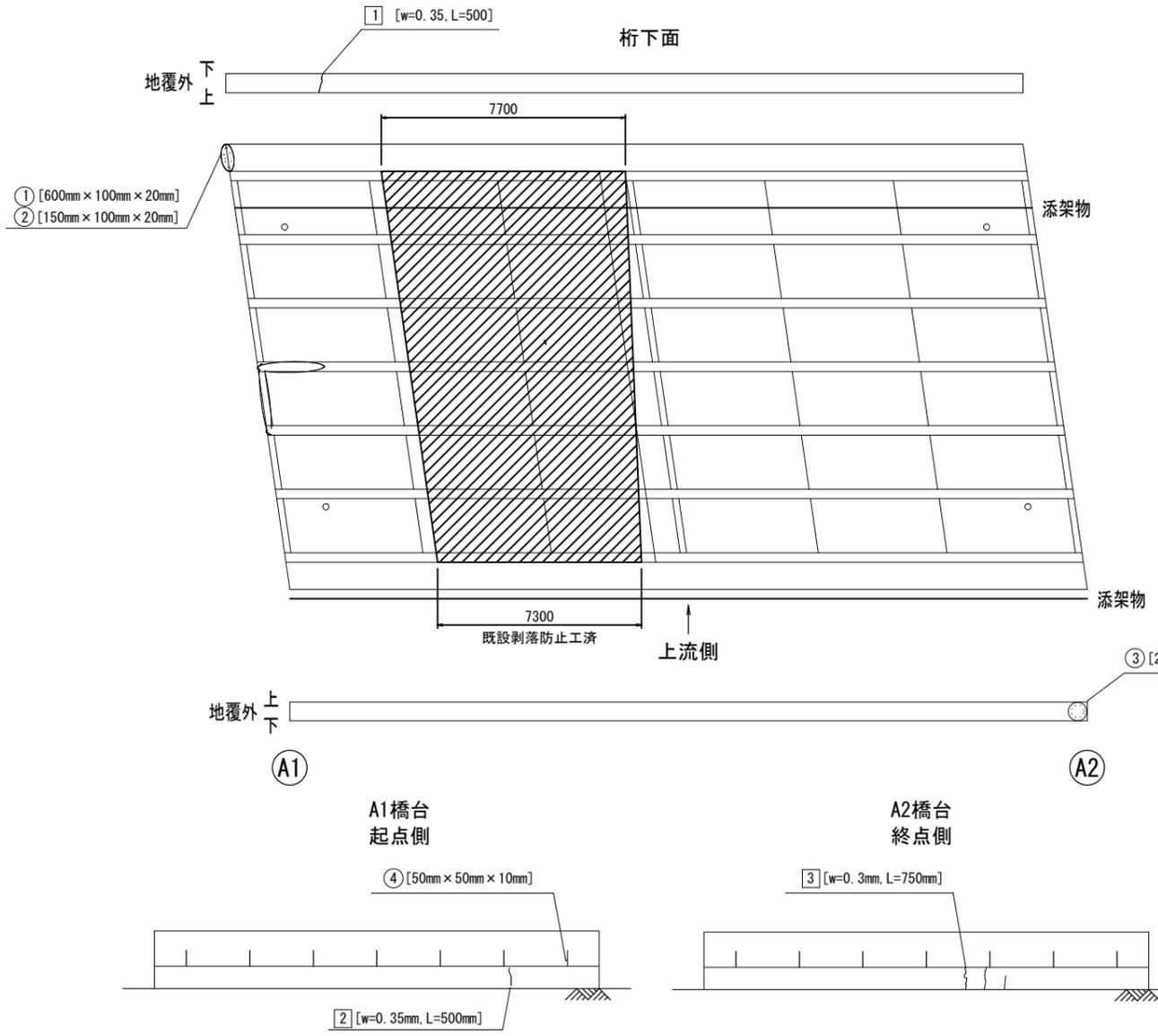


補修工種一覧

補修工法	対象部位	細別	仕様
断面修復工	床版、地覆、沓座モルタル	断面修復工(左官工法)	左官工法(ポリマーセメントモルタル)
ひびわれ注入工	橋台		
鋼橋塗装工	主桁、横桁、対傾構、支承本体、アンカーボルト		ふっ素系樹脂 塗膜剥離剤(塗布2回)
当て板補強工	主桁、横桁、垂直補剛材		
橋面防水工	床版、舗装	塗膜系防水 改質AS密粒度II型(20)	塗膜系
排水樹交換工	排水設備		
区画線工	中央線、路側線		

工事名	12号橋(産川橋)橋梁補修工事		
橋梁名	12号橋(産川橋)		
工事場所	海老名市 柏ヶ谷一丁目	地内	
図面名	補修一般図	縮尺	図示
図面番号	全 8 葉の内第 2 号		
神奈川県海老名市役所			

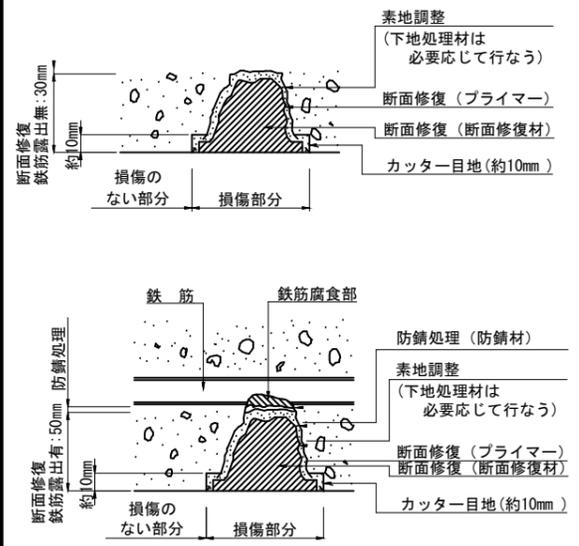
断面修復工図・ひびわれ注入工図



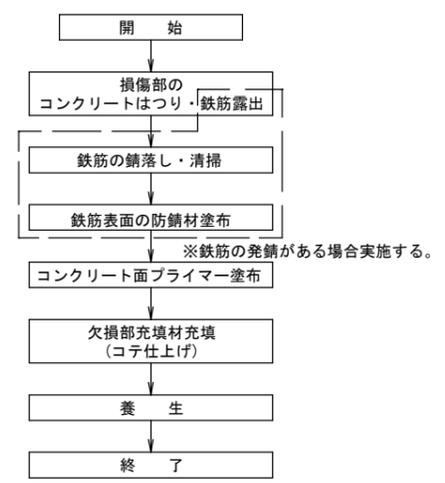
断面修復工寸法(鉄筋ケレン・防錆処理を含む)

番号	対象部材	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	箇所数	周長(m)	面積(m ²)	体積(m ³)
①	地覆	0.60	0.10	0.03	1	1.40	0.060	0.00180
②	床版	0.15	0.10	0.03	1	0.50	0.015	0.00045
③	地覆	0.20	0.15	0.05	1	0.70	0.030	0.00150
⑥	地覆	0.10	0.10	0.05	1	0.40	0.010	0.00050
⑦	地覆	0.40	0.25	0.05	1	1.30	0.100	0.00500
④	沓座モルタル	0.05	0.05	0.01	1	0.20	0.003	0.00003
⑤	緑石	0.25	0.10	0.05	1	0.70	0.025	0.00125
合計						5.20	0.243	0.00978

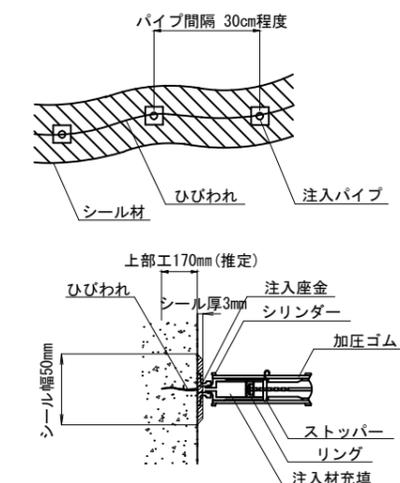
断面修復工



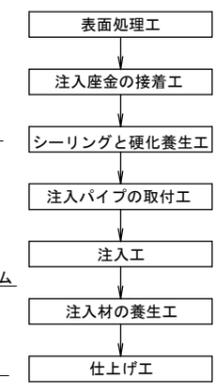
施工フロー



ひびわれ注入工



施工フロー



ひびわれ注入工数量

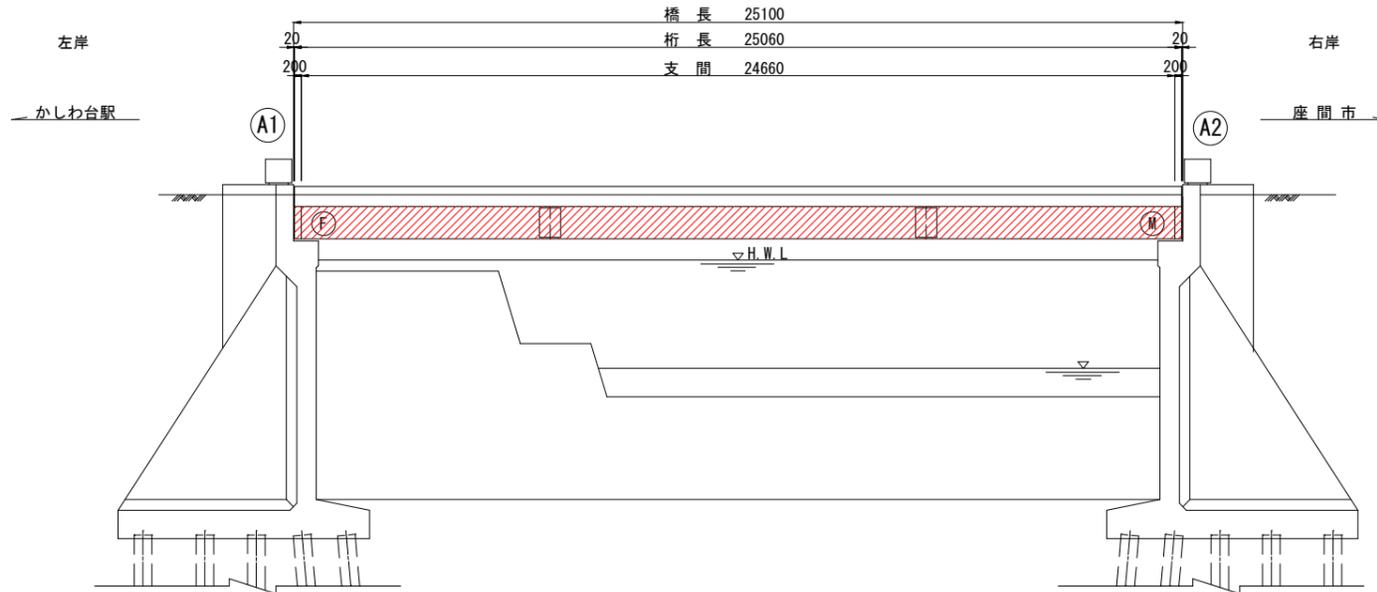
番号	対象部材	幅(mm)	長さ(m)	本数	延長(m)
①	地覆	0.35	0.50	1	0.50
②	A1橋台縦壁	0.35	0.50	1	0.50
③	A2橋台縦壁	0.30	0.75	1	0.75
④	親柱	0.30	0.30	1	0.30
⑤	地覆	0.50	1.00	1	1.00
⑥	地覆	0.50	1.40	1	1.40
⑦	地覆	0.50	2.10	1	2.10
合計					6.55

※鉄筋腐食が確認された場合は、鉄筋裏までつる。
 ※既設面のコンクリート面に対しては現地状況に合わせた表面処理を行うこと。
 ※フェザーエッジを作らないように端部は、カッター処理を行うこと。

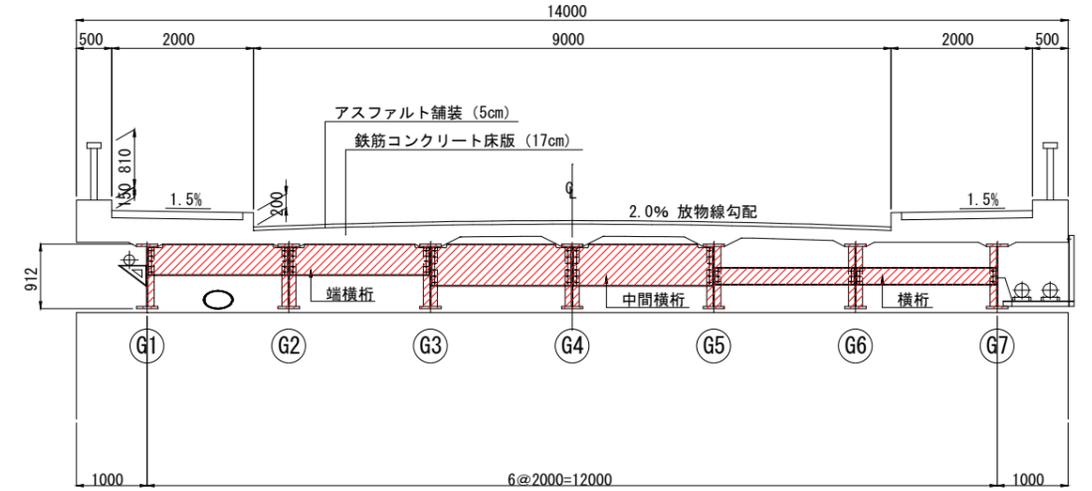
工事名	12号橋(産川橋)橋梁補修工事		
橋梁名	12号橋(産川橋)		
工事場所	海老名市	柏ヶ谷一丁目	地内
図面名	ひび割れ注入工・断面修復工	縮尺	図示
図面番号	全 8 葉 の 内 第 3 号		
神奈川県海老名市役所			

鋼橋塗替塗装工

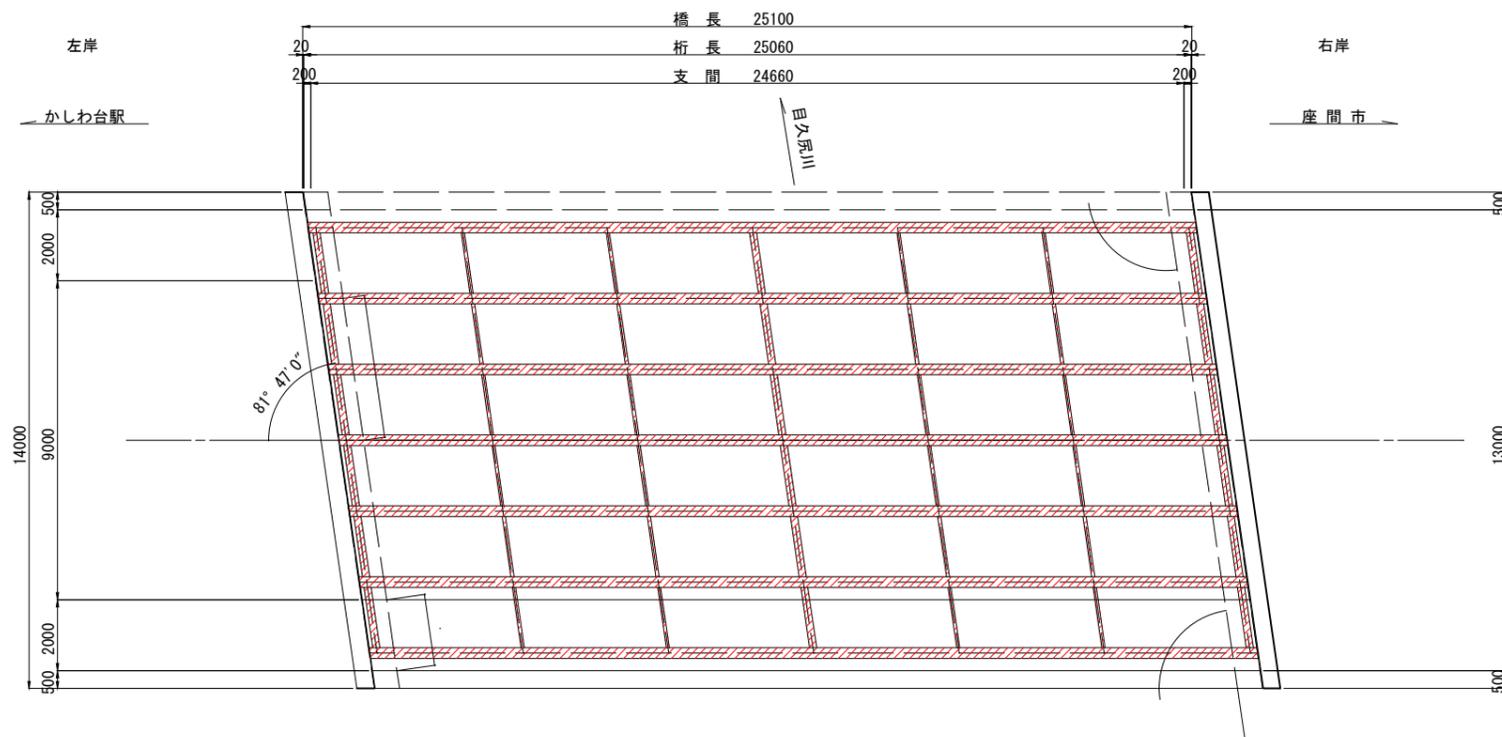
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



塗装工程

部位	主桁・支承・防護柵	使用量 (g/m ²)
塗膜剥離	塗膜剥離材 (2回) ※1	1,000※2
素地調整	2種ケレン	
下塗り	有機ジンクリッチペイント	200
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	200
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	200
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗り	140
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120

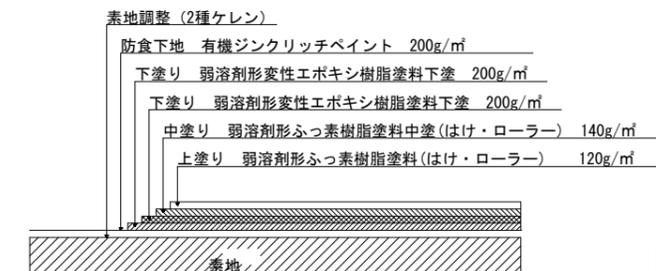
※1: 塗膜剥離剤の塗布・剥離回数は2回を標準とするが事前に小規模範囲で試験施工を行い、塗布量・塗布回数・養生時間等を設定すること。

※2: 塗膜剥離剤の標準使用量は、使用製品の規定・施工要領を遵守すること。

対象部材

鋼橋塗装工	・横桁	・主桁	・支承
-------	-----	-----	-----

塗装塗替工詳細図



塗装履歴板 (例)

塗装年月	年 月
塗装施工	〇〇
塗料製造	〇〇〇
塗装面積	主桁 〇〇m ² 床版 〇〇m ² 支承 〇〇m ²
材質	塗装系 〇〇
	下塗り 〇〇〇 〇回塗り
	下塗り 〇〇〇 〇回塗り
	下塗り 〇〇〇 〇回塗り
色番号	主桁 〇〇 床版 〇〇 支承 〇〇

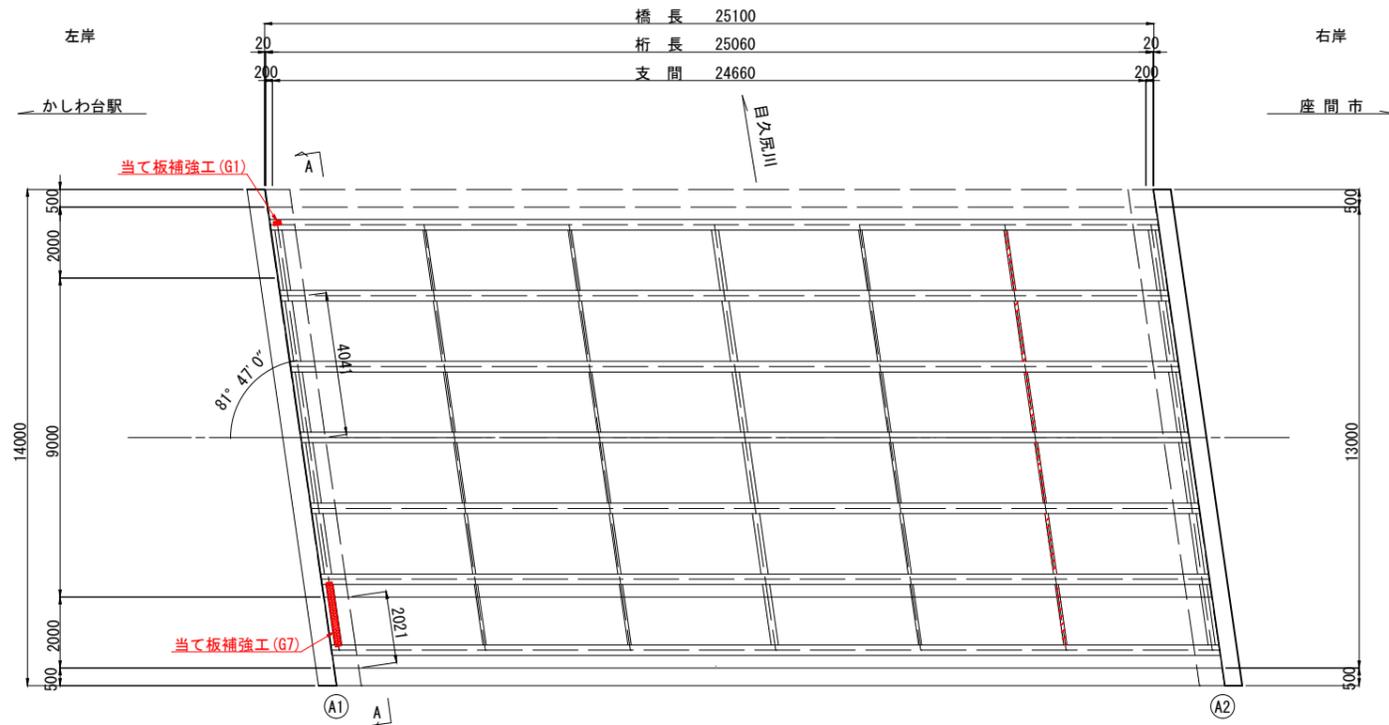
※塗装履歴板の仕様、設置位置については発注者と協議の上決定すること。

工事名	12号橋 (産川橋) 橋梁補修工事
橋梁名	12号橋 (産川橋)
工事場所	海老名市 柏ヶ谷一丁目 地内
図面名	鋼橋塗替塗装工 縮尺 図示
図面番号	全 8 葉の内第 4 号

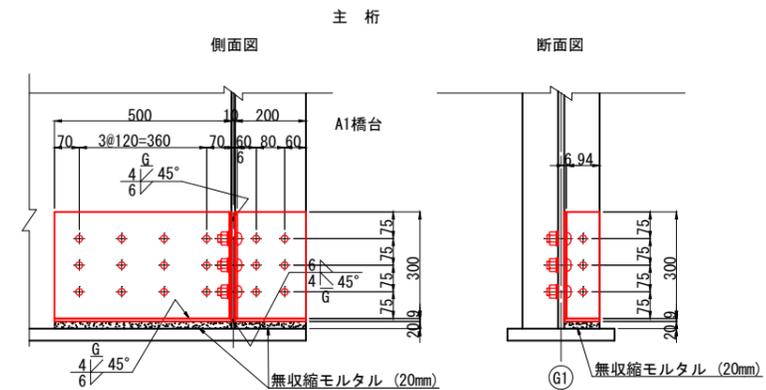
神奈川県海老名市役所

当て板補強工図

平面図 S=1:100



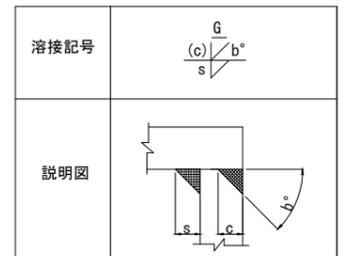
G1主桁詳細図 S=1:10



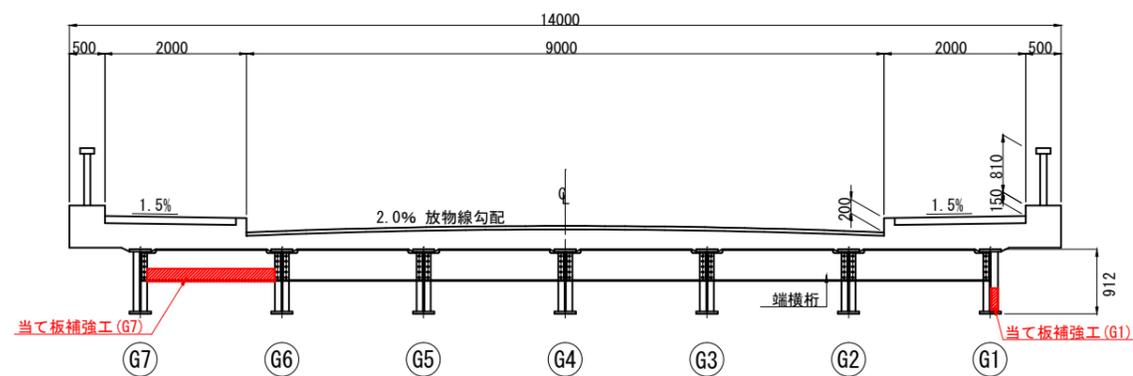
1箇所当たり材料 (制作数 1箇所 : G1)

- 1- Web PL 300 x 6 x 500 (SM400A)
- 1- Web PL 300 x 6 x 200 (SM400A)
- 2- Web PL 94 x 6 x 300 (SM400A)
- 1- FLG PL 94 x 9 x 200 (SM400A)
- 1- FLG PL 94 x 9 x 500 (SM400A)
- 21- TCB M20 x 55 (S10T)

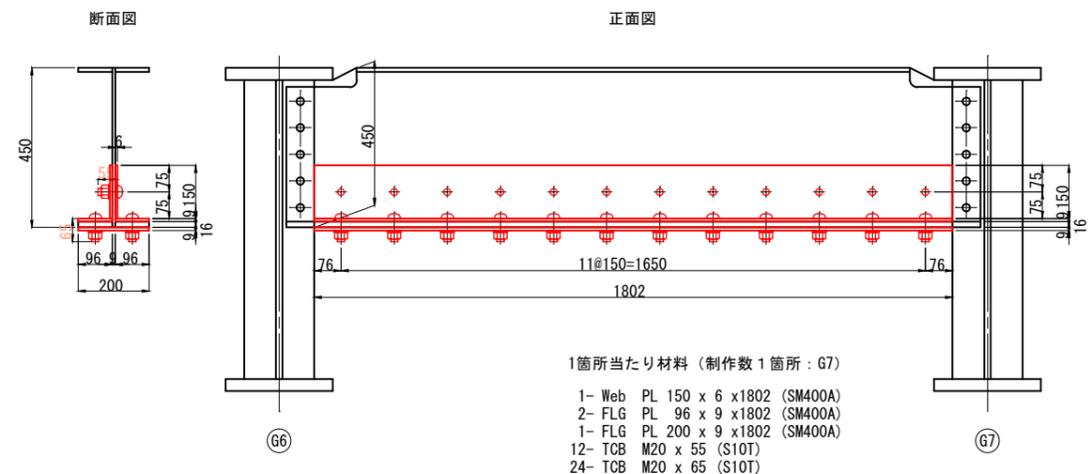
「部分溶込み溶接」記号説明図



断面図 S=1:50



G7端横桁詳細図 S=1:10



1箇所当たり材料 (制作数 1箇所 : G7)

- 1- Web PL 150 x 6 x 1802 (SM400A)
- 2- FLG PL 96 x 9 x 1802 (SM400A)
- 1- FLG PL 200 x 9 x 1802 (SM400A)
- 12- TCB M20 x 55 (S10T)
- 24- TCB M20 x 65 (S10T)

数量表

種別	細別	規格	単位	数量	摘要
当て板補強工	鋼板	SM400A	t	0.092	
	高力ボルト	S10T, M20 x 55	本	33	
	高力ボルト	S10T, M20 x 60	本	24	
	エポキシ樹脂接着剤	鋼板接着用	kg	6.000	
	無収縮モルタル	$\sigma_{ck} = 24N/mm^2$ 以上	m ³	0.0013	

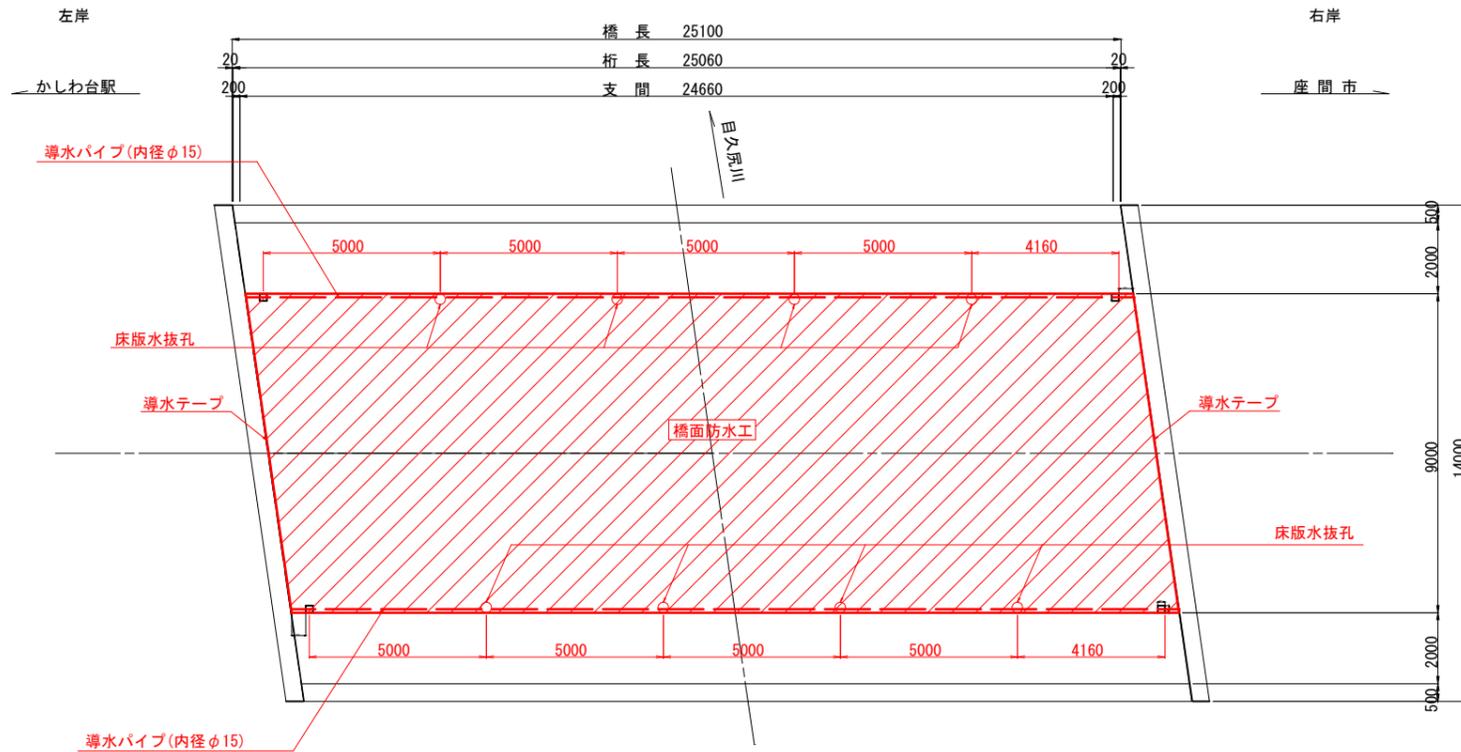
注記) 塗装は全体塗装に含む

工事名	12号橋 (産川橋) 橋梁補修工事		
橋梁名	12号橋 (産川橋)		
工事場所	海老名市	柏ヶ谷一丁目	地内
図面名	当て板補強工図	縮尺	図示
図面番号	全 8 葉 の 内 第 5 号		

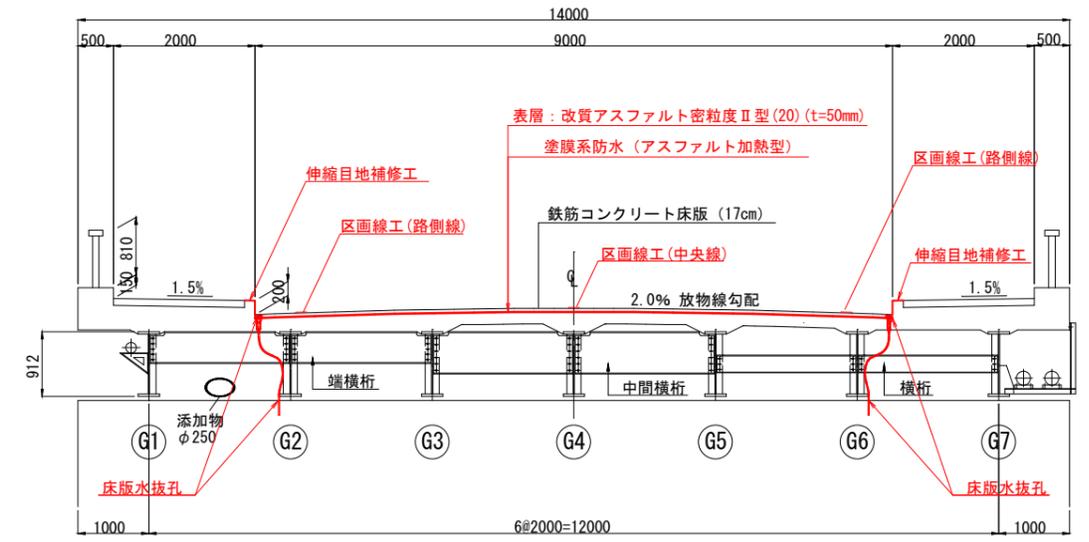
神奈川県海老名市役所

橋面防水工図

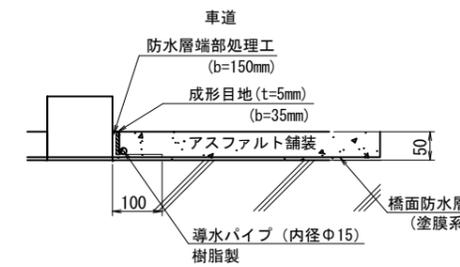
平面図 S=1:100



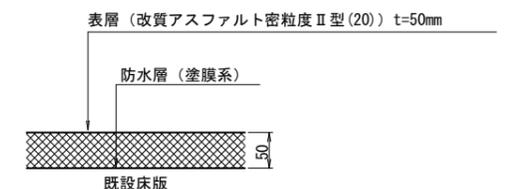
断面図 S=1:50



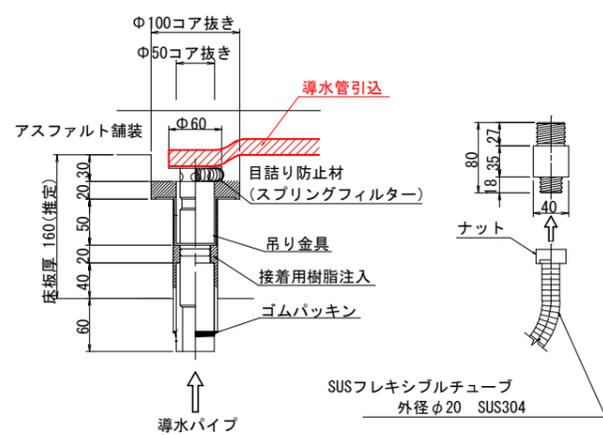
端部詳細図



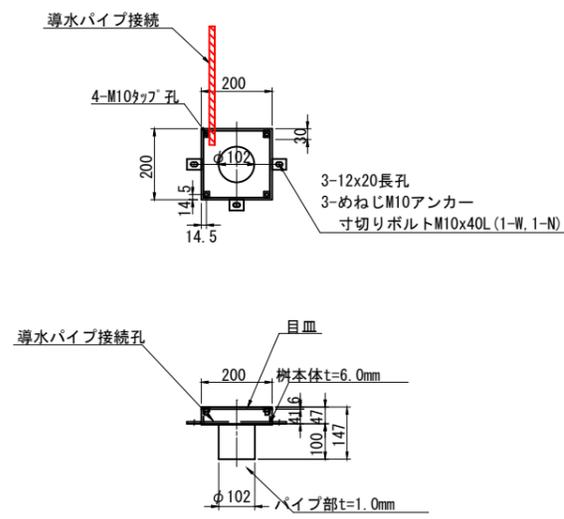
橋面舗装工構成図



床版水抜孔詳細図 S=1/4



排水樹詳細図 S=1/10



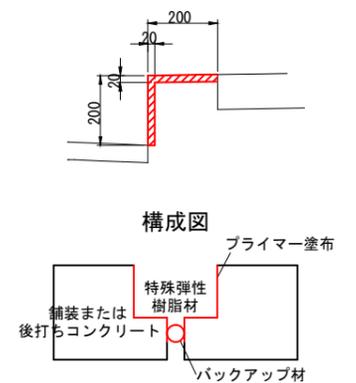
橋面防水工数量

種別	細別	規格	単位	数量	摘要
舗装撤去工 切削オーバーレイ工	舗装版切断	As舗装 t=50	m	24.5	
	切削オーバーレイ工	改質II型アスファルト	m ²	220.5	
	殻運搬	路面切削	m ³	11.0	
橋面防水工 端部処理工 成形目地工	防水層敷設	塗膜系	m ²	220.5	
	端部処理材		m	67.2	
床版排水工	成形目地材		m	67.2	
	排水用導水管設置	樹脂系φ15	m	49.0	
	導水テープ		m	18.2	
	床版水抜きパイプ	床版厚 160~190mm	本	8	
	フレキシブルチューブ	φ20mm (SUS 304)	本	10	L=1.40m/本
	水抜き孔削孔	φ50mm φ100mm	本	各 8	

伸縮目地補修工数量

種別	細別	規格	単位	数量	摘要
伸縮目地補修工	既設目地撤去		m	0.8	A1, A2
	目地設置	特殊弾性樹脂材	m	0.8	A1, A2
	補修材料	SMシール材	缶	1.0	
		専用プライマー	缶	1.0	
		バックアップ材	m	0.8	

伸縮目地補修工図 S=1/10

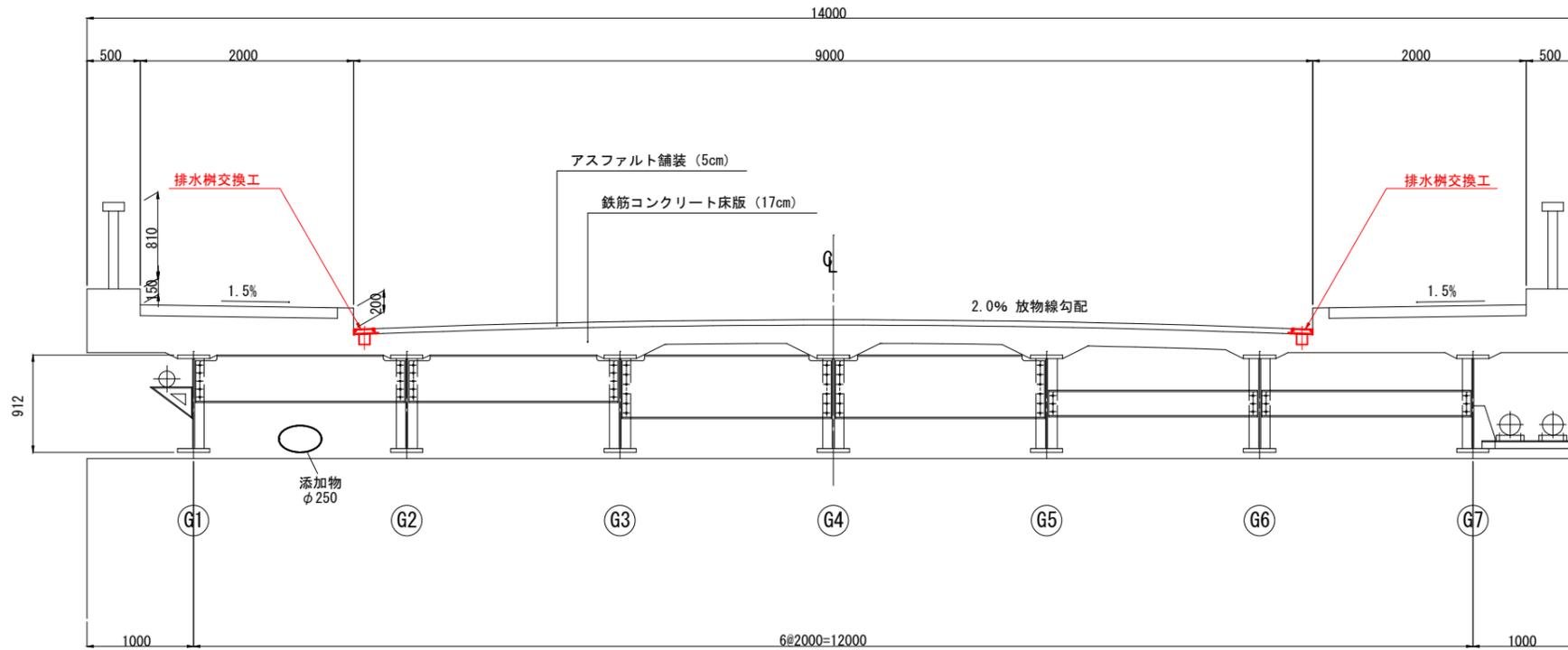


- 注記)
- 水抜き孔削孔前に鉄筋探査を行うこと。
 - 防水層の分割施工の場合は、ラップ長は10cm以上を確保すること。

工事名	12号橋 (産川橋) 橋梁補修工事		
橋梁名	12号橋 (産川橋)		
工事場所	海老名市 柏ヶ谷一丁目 地内		
図面名	橋面防水工図	縮尺	図示
図面番号	全 8 葉の内第 6 号		
神奈川県海老名市役所			

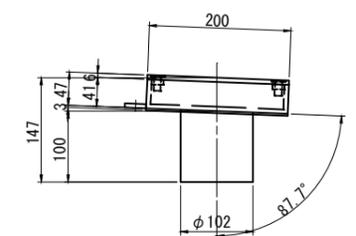
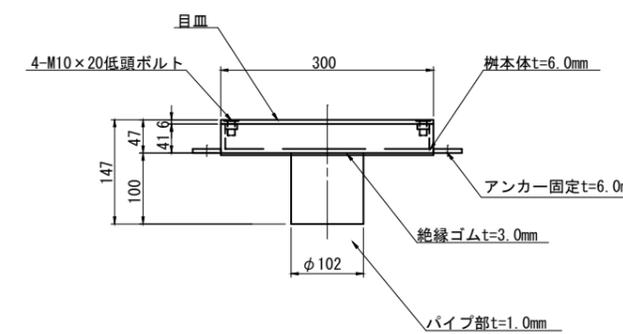
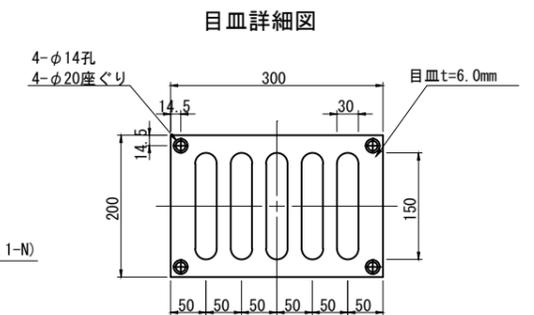
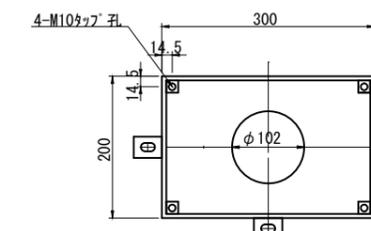
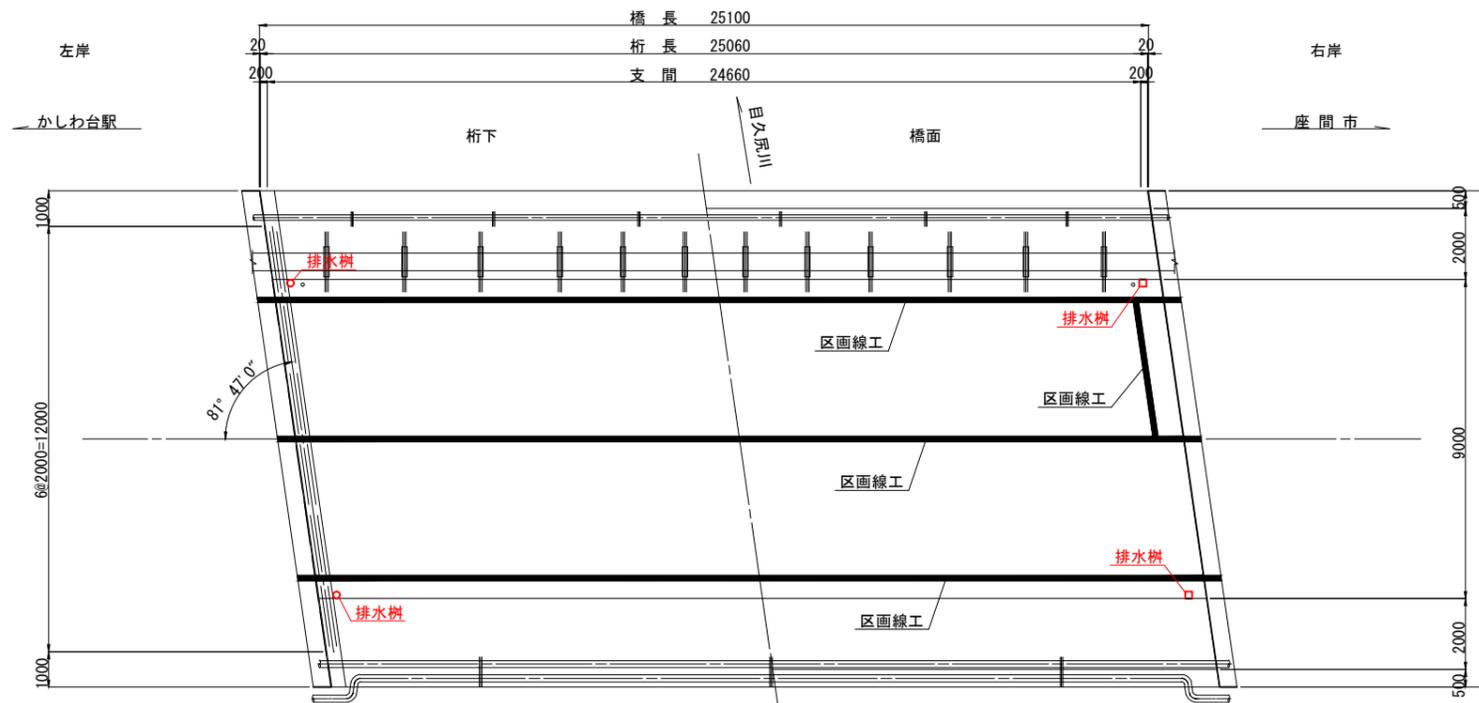
排水柵交換工図

断面図 S=1:30



TSステンレス排水柵詳細図 S=1:5

平面図 S=1:100



数量

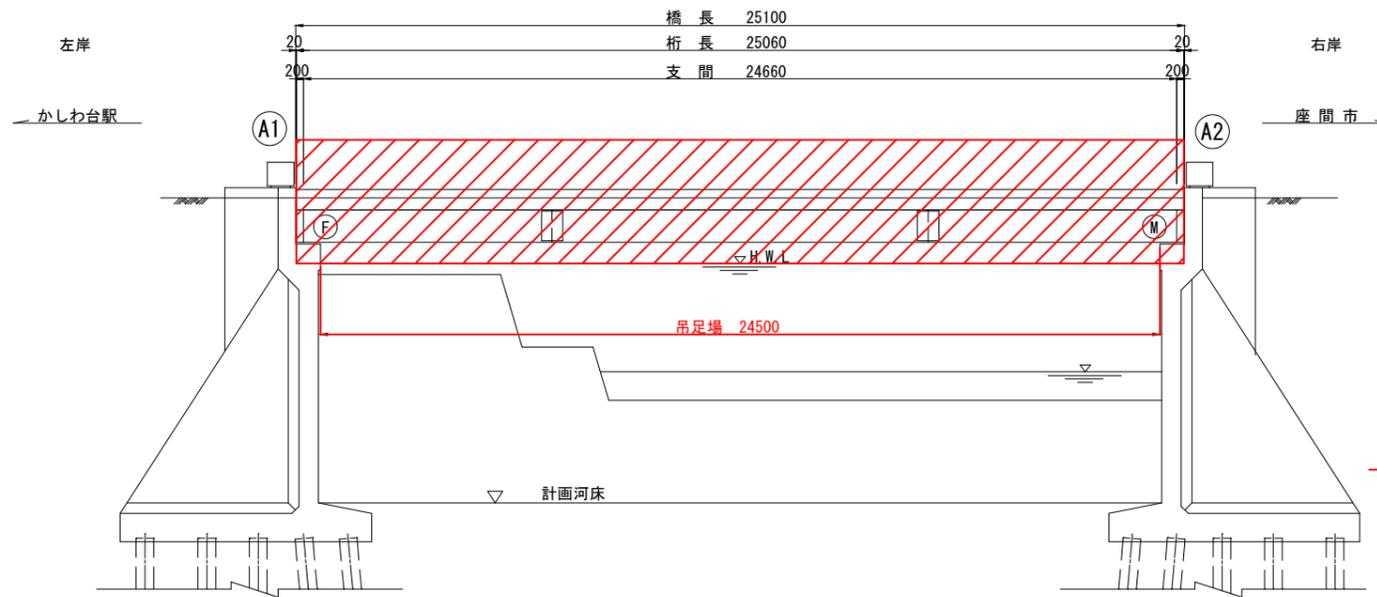
種別	規格	単位	数量	摘要
排水柵撤去		基	4	
排水柵新設	SUS304 t=6.0mm PIPE φ102 t=1.0mm	基	4	

工事名	12号橋 (産川橋) 橋梁補修工事		
橋梁名	12号橋 (産川橋)		
工事場所	海老名市 柏ヶ谷一丁目	地内	
図面名	排水柵交換図	縮尺	図示
図面番号	全 8 葉の内第 7 号		

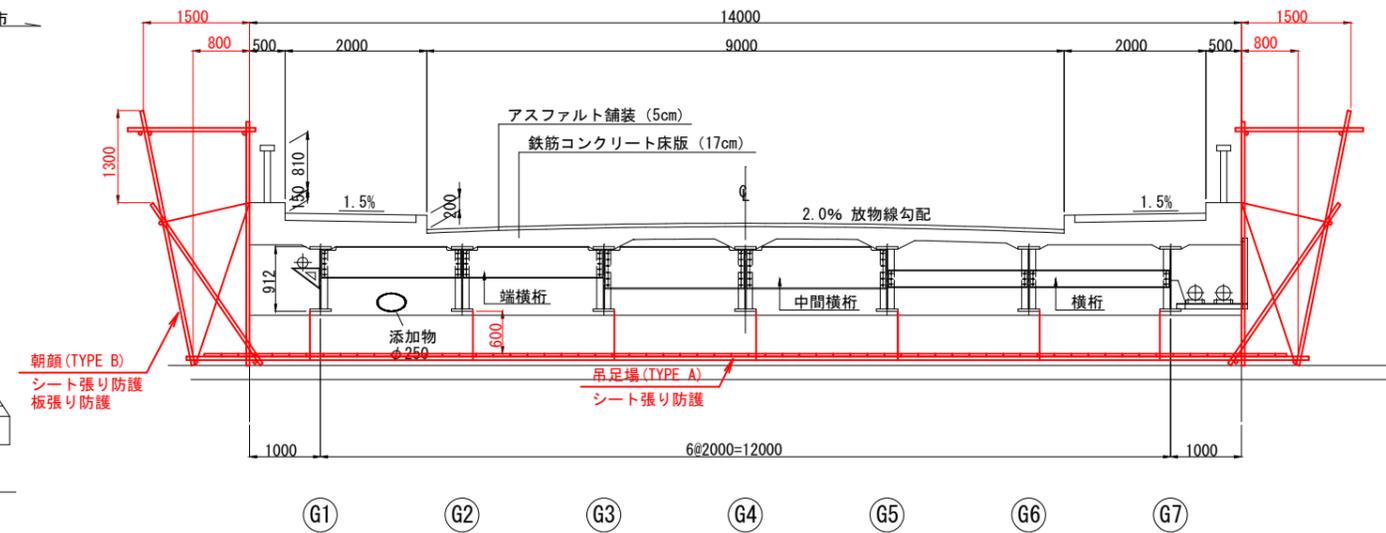
神奈川県海老名市役所

仮設計画図(参考図)

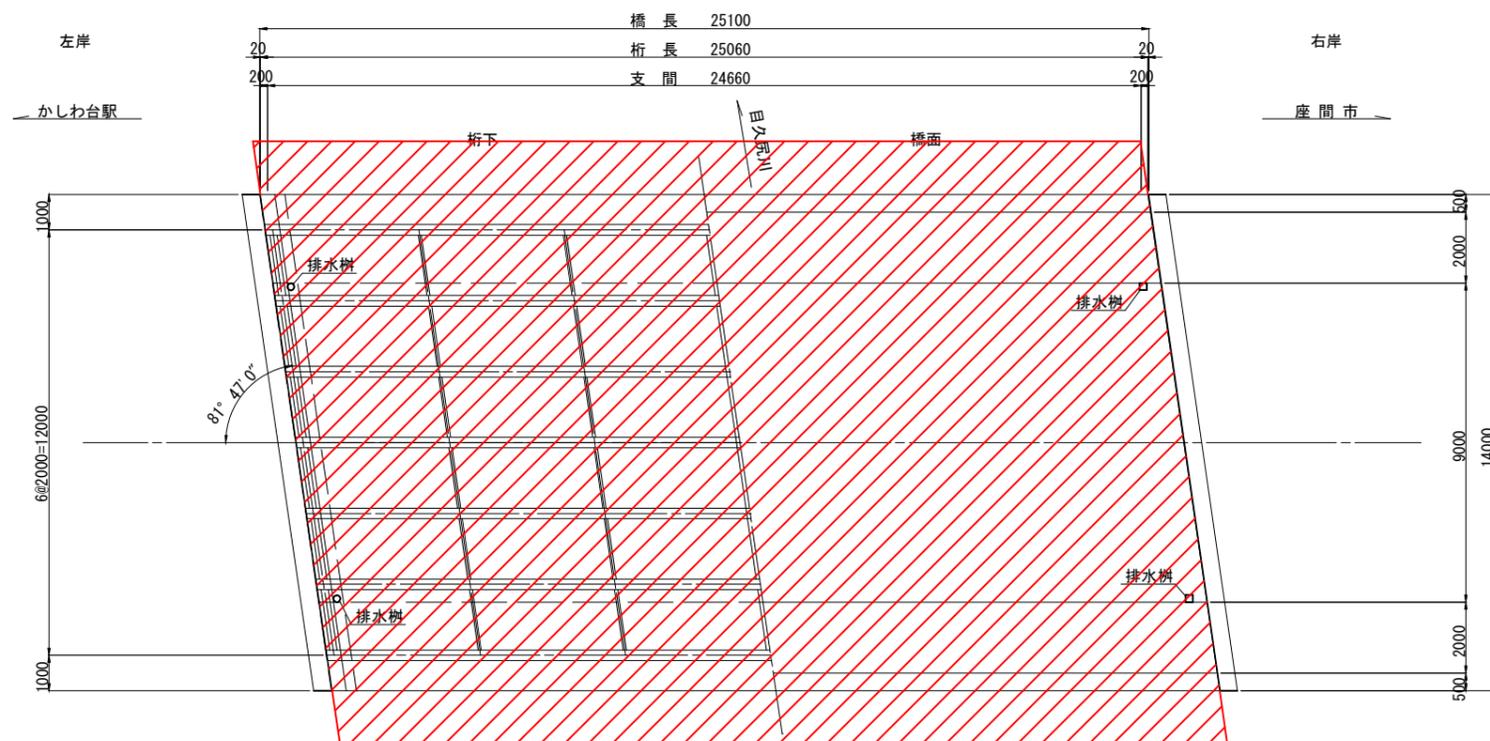
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



数量表

種別	細別	規格	単位	数量	摘要
仮設工	吊足場	吊足場	掛m2	382.2	
		朝顔(両側)	掛m2	145.6	
		床面シート張防護工	掛m2	382.2	
		板張防護工(両側)	掛m2	145.6	
		シート張防護工(両側)	掛m2	145.6	
		剥離剤用養生シート工	m2	382.2	3回

工事名	12号橋(産川橋)橋梁補修工事		
橋梁名	12号橋(産川橋)		
工事場所	海老名市 柏ヶ谷一丁目	地内	
図面名	仮設計画図(参考図)	縮尺	図示
図面番号	全 8 葉の内第 8 号		
神奈川県海老名市役所			